

GHOST IN THE SHELL

People love machines in 2029AD.

Who are you? Who slips into my Robot Body and whispers to my Ghost?

DIRECTED BY MAMORU OSHII

製作 講談社
バンダイビジュアル
MANGA ENTERTAINMENT

制　作　ス　タ　ッ　フ

製　　　作	講　談　社
	バンダイビジュアル
	MANGA ENTERTAINMENT
原　　　作	士　朗　正　宗
エクゼディブプロデューサー	宮　原　照　夫
	渡　辺　　　繁
	Andy Frain
プロデューサー	水　尾　芳　正
	松　本　　　健
	石　川　光　久（プロダクション・アイジー）
脚　　　本	伊　藤　和　典
監　　　督	押　井　　　守
演　　　出	西久保利彦
作　　　画	黄　瀬　和　哉
	沖　浦　啓　之
色　彩　設　計	遊佐久美子
美　　　術	小　倉　宏　昌
美　術　設　定	渡　部　　　隆
メカニックデザイン	竹　内　敦　志
	河　森　正　治
銃器デザイン	磯　　　光　雄
キャラクターデザイン	沖　浦　啓　之
D　G　A	オムニバス・ジャパン
撮　　　影	白井　　久男（スタジオ・コスモス）
音　　　楽	川　井　憲　次
音　　　響	若　林　和　弘（オムニバスプロモーション）
調　　　整	井　上　秀　司（東京テレビセンター）
音　響　効　果	佐　藤　一　俊
録　音　制　作	オムニバスプロモーション
編　　　集	掛　須　秀　一（J. S. E.）
現　　　像	イ　マ　ジ　カ
アシスタントプロデューサー	山崎比呂志
	伊　吹　　　眞（プロダクション・アイジー）
制　作　担　当	三　本　隆　二
コーディネーター	吉　岡　富　夫
アニメーション 制作	PRODUCTION I.G

〈登場人物〉

草薙素子……………田中敦子
バトー……………大塚明夫
トグサ……………山寺宏一
イシカワ……………仲野裕

荒巻……………大木民夫
中村部長……………玄田哲章
ウイリス……………生木政壽

清掃局員A……………千葉繁
清掃局員B……………山路和弘

人形使い……………家弓家正

無線
外交官
台田
声（C.76）
外務大臣
技師A
技師B
オッサン
オペレーター（C.133）
オペA
オペB
オペC
男
声（C.270）
声（C.271）
声（C.353）
検死官

声（C.375）
声（C.388）
運転手
6課員A
声（C.499）
声（C.505）
パイロット
声（C.617）
指揮官
声（C.621）
射手A
射手B
オペ（C.648）
パイロット（C.667）

	画　面	音　声
1	テロップ	『企業のネットが星を被い電子や光が駆け巡っても国家や民族が消えてなくなるほど情報化されていない近未来――』
2	F・IとともにT・U 集積回路のようなニューポートシティ全景 （衛星高度からの模擬映像） 〔CG〕 中心部へ 高度と比例して情報量が増大する 上空の航空機と地上の高さの距離間のある立体映像 航空機のフリップ	無　線 「パトロール中の各機へ、ニューポートC－13地区で208が進行中。当該空域を全面的に閉鎖する。繰り返す・・・ （日本語、英語、北京語をMIXして繰り返し）

一定の限度を過ぎると情報として
の意味を喪う

3

PAN・DOWN
カメラ前を擦過してゆく
POLICEのヘリ
建築途上の高層ビル
低い雲に不夜城の灯りが映え
る
手前のビルの上の草薙
セミシルエット

4

オプチカルT・U
ハック中の草薙
日本語、英語、北京語・・・
等の交信・会話が交錯する
夥しい音声の中から

外交官（無線）「・・・何も心配することはない。我が

カット	内容	セリフ
	特定の会話を探り当てる （その他の会話ＯＦＦ） セリフと同時にＴ・Ｕ止め 微かに顔を上げる	国でやり直せば済むことだ」 台田（無線）「やり直す？」
5	草薙主観で ハッキングした映像 視点寄る 補正処理をオーバーし陽炎の ように揺れる人物	外交官（無線）「バグのないプログラムは存在しないが デバッグの不可能なプログラムもまた 存在しない。違うか？」 台田（無線）「あんたには判っていないんだ。そもそ もあれは本当にバグなのか・・・ 本来プロジェクト２５０１に必要だっ たのは」 バトー（無線）「少佐・・・６課が突入準備を完了した ぜ」
6	やや間あって	バトー（無線）「・・・少佐！」 草薙（無線）「聞こえてる」

	ゆっくりゴーグルをとる 無表情のまま うなじのプラグに手を伸ばしながら少し口許を歪めて	バトー（無線）「お前の脳、ノイズが多いな」 草　薙　「生理中な~~んだ~~の」
7	首筋のUP ケーブルを絞るように束ねて引っ張る ビビ！と抜けるジャック	
8	立ち上がりながら腰のスナップ（？）に手をやり あっさり服を脱ぐ	
9	ビル（ホテル）正面 モニター映像 避難する民間人たち	トグサ（OFF）「6課の事件（やま）に9課が介入するのは、後々マズイいんじゃないのか」

10	監視バンの後部 二人ともモニターを見たまま 運転席へ		バトー　「相手の外交官は札付きのワルだからな。うまく現場を押さえても、よくて強制送還だ。オレたちが手ェ汚すしかねえのさ」 トグサ　「移動するぞ。回収地点に回せ」
11	非常駐車帯を出て 走り去るバン		
12	マルチ 少し引かれるスライド 右手人指し指、第二関節まで 手袋なしトリガーに掛けてい ません		
13	スライドを戻す間あってホル		

	スターに拳銃を収める 立ち上がる
14	下界を見下ろす草薙（間） 体を回しながらスッと棒のように倒れ込む 吸い込まれるような落下の快感
15	スローモーション
16	見開かれた目 口許に歪んだ笑い
17	天地ダイナミックに回転 密マルチ ひねりPAN

No.	内容		
18	瞬間的に屈曲し 凄じい瞬発力で開脚し 鮮やかに回転する キラリとワイヤーが一瞬見える		
19	飾りの下のパイプに草薙の全重量が一気にかかりリングが締まりパイプがギシ！と軋む		
20	ドタドタ階段を駆け上がってくる公安6課の突入隊員たち		
21	エレベーター前で合流		
22	ボディガードA気配に気付く		

	間髪置かず反応するB		
23	外交官に耳打ち トランクを下げたまま 手前へ小走りに抜けてゆくB 怒鳴る外交官 ガタ!と腰を浮かす台田		外交官　「・・・なに、公安に?!」
24	グッと握るとバコ!とスーツ ケースからSMG		
25	拳銃を構えたCに コッキングしたBが合図 ためらわずに発砲		
26	ドアをブチ抜いて床から壁へ 弾着(炸裂弾)		

	ドワーッ！とのけぞる 突入隊員たち	
27	一喝する	外交官「やめんかッ！　誰が撃てと命じた！ 武器を置け！」
28	隣室からのドアを破って一気 にナダレ込む	
29	部屋の奥のドアからも	
30	証明書を差し出しながら	外交官「外交官！　免責特権だ！ 責任者をここへ呼べ！」
	中村 隊員たちの間から出ながら	中　村「設定プログラマーの国外への引き抜き は武器輸出規制に抵触する」
31	公安6課課長中村	中　村「今回は誘拐の疑いもありそうだがな

「・・・この男は返して貰うぞ」

32

対峙する二人の中年男

外交官　「それは無理だな。彼は亡命を希望し受諾され、宣誓書にもサインしとる」

中　村　「いっ?!」

外交官　「答える義務はないな・・・従って我が国は国際法に基づき、彼を保護し連れ返る権利を有する。ちなみに宣誓書は大使館にある。後日コピーを転送してやろう」

中　村　「いいのか・・・生きては戻れんぞ」

外交官　「口を慎んで貰いたいな。我が国は平和主義の民主国家だ」

突然草薙の声

草薙（無線）「あらそう!?」

バーン！と割れ落ちる窓

33

銃声が響き

	外交官の頭部に弾着 パパパ！と連射 炸裂する外交官の頭と上半身 一瞬で血と肉と機械部品になる ワッとのけぞる周囲の男たち		
34	中村が叫び突入隊員たちが、 素早く構える		中村　「窓の外だ！　撃てッ！」
35	密マルチＰＡＮ 乱射する隊員たち 次々に窓が砕け落ちてホログラムが消滅する		
36	窓から顔を出す一同 中村に気付いて乗り出す		

37	目映い夜景の中へ フワリと落下してゆく草薙 スッと顔を残して消えてゆく		
38	中村UP		中　村　「光学迷彩!?」
39	闇に吸い込まれてゆく草薙の 白い顔妖しく笑っている 掌で覆い隠すようにして掻き 消される 完全に消滅した草薙 夜景だけが広がっている		
40	MAIN　TITLE 回路に光が閃き文字に変わる		

41	義体頭部、剥き出しの脳殻 周囲にデータホログラム
42	ホログラム画面 脳殻スキャン 接続チェック
43	原作
44	頭部に収納される脳殻
45	PAN・UP 人工筋肉剥き出しの義体 CIBORG　IMAGE 接続チェック用のデータホロ グラム次々あらわれる

46	脚本		
47	電脳ラボ全景		
48	水路の液中を搬送される義体		
49	ゆっくりと上層の 触素形成液（不透明）の中へ		
50	吸い込まれるように 消えていく		
51	その経過をシミュレートする ホログラム		
52	デザイン　キャラクター、 メカニック、銃器		

53	乳海のような触素形成液から浮かび上がる顔つづいて胸や肩があらわれる		
54	第二液層へ浮かび上がる義体浮上につれて余分な形成液が分離ディテールが出てくる		
55	浮かび上がってくる顔のディテール		
56	美術・設定・色指定		
57	MM放出リングから放出される荷電MM（マイクロマシン）		

58	漂う手を霧のようなＭＭが包んでいる		
59	ホログラム 体表面の触素受容器の分布が徐々に密度を増して人体が浮かび上がる		
60	レイアウト		
61	第三液層（透明）へ浮上		
62	表面の被膜が剥離 人体ディテールが現れる		
63	全身の被膜が剥離してゆく		

64	65	66	67	68
草薙の顔が被膜の下からあらわれる（瞼、睫、眉・・・等 この段階で）	演出・作画	ホログラム スキャン繰り返し 第四液層での洗浄工程 洗い流された余分なＭＭが キラキラと雪のように輝く	洗浄液中 湧き上がる泡に包まれた義体	音楽

69	最終工程 押し上げられ溢れる洗浄液		
70	液面へ向けて 押し上げられてゆく義体		
71	編集・音響		
72	液面を割ってあらわれる草薙 （義体）		
73	溢れつづける液体 直立したまま上昇する草薙 （義体）		
74	周囲をデータホログラムが回		

	75	76	77	78
転	製作&制作	吹き上がる風に髪が舞う 通信が入る メッセージの後、確認を促す 信号が繰り返し流れつづける 目、開かない	ひとつ瞬きして 目を見開く草薙 確認音切れる そのまま目の前の自分の手を 見つめる（少し目を細める）	起き上がり
		声 「コード208・・・非常招集。 外務省17フラットへ」		

	手元のスイッチを探る 何もなかった空間にバシャリと窓が開く その光の中に浮かび上がる 草薙の顔
79	そのUP 微かに顰められた眉、不快そうな表情のまま窓の外を見つめている（間）
80	窓の外に新市街の高層ビル 長椅子を降りる草薙 ゆっくりと右へフレムアウト ＯＦＦで身支度を整える物音 最後に銃を操作する音が響き 上着の袖に腕を通しながら

	手前へフレムアウト ドアの開閉音 つづいてロックの音 無人となった室内 ロングをヘリなど通過 スクリーンのような窓枠 突然バシャ！と窓消える
81	監督
82	MFA（外務省）のVIP用 ヘリ
83	外務省ビル（新市街） 屋上ヘリポート 着陸して 旋回翼ゆっくりと逆回転

	走りよるSPたち	
84	サイドハッチ開き スーツのボタンを掛けながら 降りてくる外務大臣	
85	顔をあげて 待ち受ける人物に気づく	
86	公安9課部長荒巻	
87	エレベーター内 一歩下がった場所に 小男の荒巻	外務大臣　「・・・珍しいな。9課の荒巻君が外務省に何の用かね?」 荒　巻　「明日予定されている、ガベル共和国との秘密会談ですが」 外務大臣　「お定まりのODAだ。革命後に誕生した新政権から再開の申

88

外務大臣UP
チラと荒巻を意識して
（腹芸）

し出があってな。まあまあ民主的にやってはいるが、いずれ五十歩百歩の連中だ。
稼いだ金じゃないから身につかんし、搾取の返済だと思っとるから誰も感謝などせんよ」

荒巻「で、政府の意向は？」

外務大臣「問題なのは亡命を希望して我が国に滞在しとる、かつての軍事政権の親玉だが・・・」

荒巻「マレス大佐、でしたな」

外務大臣「あの男を放り出して援助を進めるか、亡命を公式に認めて援助を断るか・・・
難しいところだ。
・・・世論が納得するような明確な理由でもあれば、今すぐにでも強制送還

			したい男ではあるがな」
89	荒巻、無表情のまま鋭い一瞥をくれる ポーンと停止音		
90	エレベーターの扉開く		
91	扉を出て立ち止まり 言い捨てて去る	外務大臣	「・・・先日の亡命騒ぎでは世話になったそうだな。6課の中村君が礼を言っとったよ。 われわれ外向きの人間は、手を汚すわけにはいかんのでね」
92	歩み去る外務大臣を硬い表情で見送る荒巻 扉が閉る		

93	モニター画面・脳の模式図 アクセスが表示され 反応が全体に拡散する		技師A（OFF）「アクセスした・・・!」
94	外務省第17フラット 持ち込まれた機材と 数名の技師		技師A「反応消失・・・脳波の出力はどうだ」 技師B「異常なし。擬似体験モードのパターン を切り替える」
95	草薙の後ろからINしつつ 並んで見下ろし呟くように		荒巻「・・・外務大臣の通訳だ。 23分ほど前、電話回線を経由して電脳 にハッキングされた」
96	草薙の見た目 身代り防壁にケーブルで接続 された通訳 眠っている		荒巻「某国の情報筋の警告通り、”人形使い“ がネットの各端末に介入しはじめた。 その傾向を分析した結果、ガベル共和 国との秘密会談に対する妨害工作の可

No.	画面	台詞
		能性が濃厚だったので、会議出席者全員に網を張って待っていたんだ」
97	見下ろしたまま 技師の方へ小さく顔を向け	荒巻　「おそらく彼女のゴーストをハッキングして会談を襲撃させるつもりだったんだろう」 草薙　「侵入者が防壁を破って彼女のゴーストに到達するまでの時間は?」 技師A（OFF）「使用されているツールが旧式のHA－3ですから・・・約2時間。それ以上は危険なので回線を遮断します」
98	ベッドを回るように－無言で その場を離れる草薙に	荒巻　「バトーとイシカワが逆探位置を車で追跡しとる。合流しろ」
99	ふと足を止め、少し躊躇して	

カット	内容		台詞
	から肩越しに振り向く （ちょい間）		
100	人形のように横たわる通訳 嗤っているようにも見える		
101	空撮風 海上の高速道路を旧市街へ向かう偽装バン（前出の監視バンとは別）		
102	コクピット トグサ既に装備済み	トグサ	「人形使いって・・・あの正体不明のハッカーが？」
103	後部キャビンの草薙 アーマージャケットを 装備しながら	草薙	「国籍推定アメリカ、年齢、性別、経歴 全て不明。 去年の冬頃から主にＥＣ圏に出没。株

ブーツのスナップを固定

価操作、情報収集、政治工作、テロ・・・電脳倫理侵害、その他十数件の容疑で国際手配中の犯罪者。不特定多数の人間をゴーストハックして操る手口からついたコードネームが〝人形使い〟・・・この国に現われたのは初めてのはずよ」

104

運転するトグサと装備をチェックする草薙
二人の会話
フレム外のミラーに
（すぐに視線を戻す）
傍らのケースから拳銃を取り

トグサ　「そんな凄腕がなんで旧式のHA－3なんかで？」

草　薙　「新しいタイプだと確かに発覚しにくいし、逆探も難しいわ。でもそれだと状況からして直ちに前軍事政権の指導者だったマレスに疑いがかかる」

トグサ　「スポンサーであるマレスが疑いをそらすために、わざと旧式を使わせた？」

草　薙　「あるいは我々にそう思わせたい別のス

カット	画面	台詞	
	出して ①スライドを引いて固定 ②チェンバー内を確認 ③弾倉を装着	 トグサ 草薙	ポンサーがいるのか・・・案外マレス 自身も踊らされている一人かもね」 「考え過ぎなんじゃない？ いまのところ、なんの根拠もないし」 「根拠ですって？」
105	バチャ！と装弾	草薙	「そう囁くのよ・・・私のゴーストが」
106	ホルスターに収め つづいてSMGを チエックしながら	草薙 トグサ 草薙 トグサ	「ところで、まだリボルバーを使ってる んだって？・・・ツーマンセルで二丁 下げてもジャムが怖い？」 「俺はマテバが好きなの！」 「援護される身としちゃ好みより実効制 圧力を問題にしたいわ。 ヤバイ目に合うのは私なんだから、ツ ァスタバにしなさい」 「・・・少佐」

107	108
不満そうに ミラーをチラと見て	
トグサ「前から聞いてみたかったんだけど、なんで俺みたいな男を本庁から引き抜いたんです?」 草薙（OFF）「お前がそういう男だからさ」 トグサ「は?」 草薙（OFF）「不正規活動の経験のない刑事あがりで、おまけに所帯持ち。電脳化はしてても脳ミソはたっぷり残ってるし、殆ど生身・・・」	草　薙「戦闘単位としてどんなに優秀でも、同じ規格品で構成されたシステムはどこかに致命的な欠陥をもつことになるわ組織も人も同じ。特殊化の果てにあるのは緩やかな死・・・それだけよ」

112	PAN・DOWN 旧市街の裏通り（早朝） ゴミ収拾中の回収車 清掃員A、B		
113	ハフハフ言いながら ゴミ袋を放り込むAと ピポパと電話しているB 憤然と		清掃員A　「オイッ！」 清掃員B　「判ってるって！」
114	電話台の下にテープで 貼られたカードを探る		
115	B、隠すようにモゾモゾと バケットを閉じて 腕時計を見るA		

	怒鳴る OUTしながら カードをスリットへ		清掃員A「トータルで40秒も遅れてるんだぜ!」 清掃員B「5秒で済むから!」 清掃員A「カ〜〜ッ、ついてねェ!」
116	ジ〜〜ッとスリットを移動するカード（Bの見た目）		
117	液晶モニター "CONNECT"が "ACCESS"に変わる （点滅）		
118	清掃車コクピット むくれているA 慌てて運転席に乗り込むB ギアを入れて発車 オッとの加速（FOLLOW		清掃員B「いやあ悪いね」 清掃員A「こんなら不法就労でパクられた前の相棒の方がマシだった・・・ぜ!」

START）

119
バオオ・・・
と出て行く回収車

120
清掃車コクピット

清掃員A「しっかし、ゴーストハックまでして自分の女房の気持ちを知りたいかねェ」

清掃員B「顔もロクに合わせねェで、いきなり離婚をわめかれてみろ。
・・・おかげで娘は他人顔、生意気にオレの浮気まで疑ってやがる」

清掃員A「でもよく”防壁破り“なんて手に入ったな」

清掃員B「プログラマらしいんだけど、呑み屋でやたら親切な奴と知り合ってよ。女房の弁護士がやり手で合わせてくれねェっつったら、相談にのってくれてよ、こ

上機嫌
人が良さそうに見える
清掃員B

うして場所変えながらアクセスすりゃ、
バレねェって。
アッタマいィ〜〜！」

121

と、突然
前方の角からドギャーとテー
ルを流して
飛び出してくる乗用車

122

大きく振られて
急停車する清掃車
バオオオン！と
手前へ抜ける乗用車

123

清掃員A、乗り出して
清掃員Bも首を出して

清掃員A　「バカヤローッ！　そんなに死にてェか！」
清掃員B　「オレたちも以外にも忙しい奴がいるも
んだな」

124

乗用車、飛び出してきて
ズギャー!と急停車
バトー、顔を出して

バトー　「誰もいねェや」

125

運転席のイシカワ
ブスリと

荒巻の声（車載無線）

イシカワ　「意味ねェぜ。逆探できてもオレたちが
到着するまでの時間でフケちまう」

バトー　「イタチごっこって奴か」

荒巻（無線）　「そうボヤくな。次の推定区域に草薙と
トグサが向かった。
お前たちはそこで何かを探せ」

バトー　「何かって、何をです？」

荒巻（無線）　「何かだ！」

126

アイドリングのまま
二人とも車を降りて
バトー、ブツブツと

バトー　「くそったれオヤジ、聞き込みでもやれ
ってのかよ！」

カット	内容	台詞
	振り向く	オッさん（OFF）「ありゃ!?」
127	ゴミ袋を抱えたまま	オッさん「ダ〜〜ッ！　間に合わなかったかァ」 バトー「オッさん、清掃車がここにいたの見たか？」 オッさん「あんたら何者？」 バトー「見たのか見なかったのかどっちだ！」
128	間髪置かずバムバム！と ドアの閉る音響く 呆気にとられて 見ているオッさん	オッさん「見たよ。んでゴミ持ってきたらもういねェ。一人が電話かけてたんで間に合うかと・・・」
129	スピンターンを決め ドギャー！と走り去る	オッさん「あのォ・・・ちょっと、コレ」
130	草薙たちの偽装バン	草薙（無線）「回収車？・・・成程、7分おきに移動

	旧市街の高架道路		か」
131	テンポよくセリフ シート変形		草薙 「本部、その地区の清掃局から情報を取って!」
132	体を合わせるようにして ジャックイン		
133	草薙主観 一瞬接続のノイズあって 〔CG〕 視界が自分の体から抜け出す そのままルーフを抜けて 車外へ 一気に大俯瞰 (途中から情報量が変化して 概念図風になる)		

	湾岸の俯瞰まで上昇し当該地域が浮かび上がる バトーたちの車 草薙たちの車、回収車 それぞれフリップ出現 当該地域にズームイン 信号等を考慮して最短のルートが素早く演算して表示される		オペレーター（無線）「当該地区を巡回中の回収車8台。 目標車輌、タイプC58号車」
134	トグサの目の前のステアリングが勝手に回り、加速		草薙（無線）「運転貰うわよ」
135	ギャー！と車線から強引に逸れてランプへ		
136	ランプへ突っ込んで		

	一気に手前へ	
137	地上の車列に強引に割り込む 手前のトラックブレーキング	
138	息を呑んでいるトグサ 隣の草薙をうかがう	
139	魂の抜けた人形のような草薙	草薙（無線）「イシカワ、回収車の男の自宅へ回れ！ バトーは次の巡回地点へ先回りしろ！」
140	本部（通信室）	荒巻「誰かと接触するかもしれん。手を出さずにそのまま追跡しろ！」 オペレーターA「巡回地点のデータ、来ました」
141	モニター画面（CG） 巡回予定地点および逆探地点	オペレーターB（OFF）「逆探地点と一致。目標、次のポイントに停車中」

	を表示 回収車の現在地点へ ズーミング 拡大するにつれて 情報量が増大（立体化） ゴミ回収車の二人組み アクセスの表示 地下の配管まで見える 電話中の清掃員Bへ更にズー ム		オペレーターC「HAI-3、アクセス確認」
142	ガチャリと 受話器を置く清掃員B		清掃員B「悪イ、悪イ〜〜！」
143	慌てて車の方へ走る		
144	戻りながら		清掃員B「な、後半オレがゴミ運んで、あんたが

発車（車を左折させる）

影の角度変化

ポケットから写真を取り出して愛しそうに眺めて

電話するっての、どう?」

清掃員A　「お前ェの共犯になるのはゴメンだよ。
しっかし、情けねぇ話」

清掃員B　「あんた、子供いる?」

清掃員A　「いるように見える?」

清掃員B　「じゃ、判ンねぇだろうな。・・・娘は
オレの命なんだ。
・・・見ろよ、言っちゃなんだが天使
みたいだろ」

145

差し出す

清掃員A　「他人(ひと)ン家(ち)のアルバムを覗く趣味はねェ
よ」

ププブ・・・と電話

受話器を取って

怪訝な表情で

ドギャー!と加速

清掃員A　「・・・ハイ58号車。
ああ主任、何です?
・・・え、警察がオレたちの巡回路を!?
何でそんな・・・知らないっスよォ!」

146	バオオンとカッ飛ばす回収車 ジャンプ	
147	ドーン！とショック 必死の形相のＢ 別人のような顔 更に踏込んで加速	清掃員Ｂ　「ハッキングがバレたんだ！　あの親切な奴に知らせなきゃ！ ・・・巡回場所、一ヵ所とばすぞ！」 清掃員Ａ　「えェ〜〜ッ！」
148	再びモニター画面	オペレーターＡ（無線）「目標、巡回路を外れ増速して次のポイントへ向かっています」
149	バトーの車（停車中） 慌ただしく声が交錯する ブツブツと呟きながら ギアを入れる	バトー（無線）「感ずかれた？　目視範囲に尾けちゃいねえぞ」 草薙（無線）「清掃局のネットにアクセスしたのがバレたのかも」 バトー（無線）「裏から潜りゃいいのに！」 荒巻（無線）「やむをえん。接敵して押さえろ！」

カット	内容		セリフ
150	大通りの見える裏通り 張っていたバトーの車が角を曲がって飛び出し 手前へ抜ける 驚いて見送るゴミ出し男		
151	偽装バンのコクピット 瞬きひとつして 突然動き出す草薙 いきなり動き出した 人形のように		草薙　「運転返すぞ」
152	慌ててステアリングを 握るトグサ 草薙、シートの後ろから SMGを取り出す		トグサ　「オオッと・・・!」

153	154	155	156
運河沿いの倉庫街（俯瞰） 尻を滑らせて コーナーへ飛び込むバン	コクピットやや俯瞰 運河の対岸をゆく 回収車が視野に入ってく	回収車を追って運河を越える バン 橋の下スレスレを潜り抜ける オワイ船	受話器を取る手 手袋に長袖のコート

157	周囲を伺いながら 手をポケットへ
158	架台の下へペタリと貼る
159	バオオ・・・ンと 接近してくるエンジン音 ン？と振り向く ここで初めて顔が見える目つ きの鋭い男（一応サイボーグ です）
160	キキ！とタイヤを鳴かせて角 を曲がって姿を現わす回収車
161	怪訝な表情から ギ！と厳しい表情になる

162	長焦点効果（男の主観） 何か叫んでいる清掃局員B その背後からスッと姿を現わす偽装バン さらに長焦点化して
163	バ！とコートを翻し脇の下のSMGを一挙動で摑み ババッと一連射（5－6発）
164	回収車の右前輪 一瞬で吹き飛ばされ
165	キキー！とたちまち右へ 視界から右へ逸れていく

166	167	168	169	170
咄嗟にステアリングを 大きく左へ切るトグサ	ギャー！と急ブレーキ サス大きく沈みながら 尻が流れる	横転してそのまま滑る 防弾処理のボディに ダーッと弾着 鉄板を叩く凄じい音	弾倉を落とし同時に左手で次 の弾倉を探る男（スロー）	フロントガラスがバーンと 砕け落ちる

	転がるように 車外へ飛び出す草薙 それにつづくトグサ
171	新しい弾倉（徹甲弾）を 叩き込みボルトを引く 一連の動作、素早く確実に
172	やや腰を落として構える
173	男の右足 グッと開いて踏み締める
174	バァーッとブッ放す ドでかいマズルフラッシュ 吹き戻しのガス圧でコートが 膨らみ銃口の下の地面から

	175	176	177	178
一斉に土埃が舞い上がる	ボコボコに貫通 目に見えないハンマーで乱打 されたようにベコベコと中な しで歪みが広がるボディ 凄じい威力	ダ！とバンから離れる 草薙とトグサ 車内の火薬に命中して 爆発炎上する 爆風に吹き飛ばされる草薙	ザザー！と地面を滑る	早くも次の弾倉を

	装填している男 背後から出現したバトーの 車に気づく		
179	薄笑いを浮かべてフードを上 げながら奥へ走り去る （途中で消え始める）		
180	尻を流して盾にするように 急停車するバトーの車 車外へ滑り出て		
181	銃を抜きながら		バトー　「あーあ、装甲バンがオシャカかよ」 草薙（無線）　「強装 高速徹甲弾のカタメ撃ち！　車のドア 抜かれるわよ！」 バトー（無線）　「サブマシンガンで？ ムチャなヤロー」

182	気配に振り向く	
183	車越しバトー主観 並べて貼られたポスターに歪みが走る（スロー）	
184	FOLLOW（スロー） 背後のポスターを歪ませて走る影	
185	ルーフに腕を伸ばして ものも言わずに ドカドカ発砲するバトー	
186	低い位置に弾着 身を翻して路地に走り込む影	

187	手前へ走り抜ける影 間髪置かずバトーINして 構えるが		
188	通行人（買物客）を突き飛ば して奥へ消える影 撃てない		
189	銃口を逸しながら スッと壁に身を寄せて		バトー（無線）「光学迷彩まで使ってやがる！」 草薙（無線）「そのまま追って！ 私は上から回り込むわ！」
190	爆発のショックでまだ 朦朧としていたトグサ ハ！と体を起こして		草薙（無線）「トグサ！　まだ生きてるなら回収車の 二人を拘束！」 トグサ（無線）「リョ・・・了解！」

191	192	193	194	195	
立ち上がりながら反対側の歩道に突っ込んだままの回収車を見て銃を抜く	大ジャンプ 頂点でクルリと回る	ズシーと屋上に着地（重い）	手前へ走り込んで来て 立ち止まって前方を見下ろす	密マルチＰＡＮ・UP 半露店式の市場 向こう側に運搬用の水路が見える	
トグサ 「（ブツブツと）優しさのない職場だぜ					

196	買物客で一杯の場内 人、人、ヒトの群れ・・・
197	店内より
198	雑踏の中を来るバトー
199	歩きながら周囲を見渡す
200	
201	びっしりと人の群れ 交渉したり、喚いたり、メシ 喰ったりエネルギッシュに 俯瞰 流れに逆らうように

カット	内容		
202	野良犬も当然いる その傍らで立ち止まるバトー		
203	立ち尽くすバトーの耳に北京語、日本語、英語のチャンポンノイズが襲いかかる （微速T・U） その傍らを通り過ぎてゆく人人、ヒト・・・（スロー）		
204	バトー主観 押し寄せる群集の顔　（スロー）		
205	ドシャー！と何かぶつかる音に振り向くバトー		

カット	内容		台詞
206	バトー主観 荷台がひっくり返され 何かに突き飛ばされて 倒れる周囲の人間たち 奇妙な混乱 視界が切り替わり 夥しい熱源の中に そこだけ黒い影		
207	バ！と拳銃を抜いて構え ワ！と逃げる買物客たち		バトー　「警察だ！　全員伏せろーッ!!」
208	次々と買物客を突き飛ばして 逃げる影		
209	バトー撃てない 舌打ちして銃口を上げ		

	追撃にうつる
210	逃げる影 FOLLOW
211	追うバトー FOLLOW 重戦車のようにあらゆるものを吹き飛ばして突進
212	バサバサ舞い上がるニワトリ 訳も判らず逃げ惑う群集 一瞬立ち止まり 振り向きざま発砲する影
213	頭を下げて なお突進するバトー

	周囲の客たち腕や足に被弾して バタバタ倒れる もうメチャクチャ		
214	俯瞰 パニックとなった場内 逃げる影と追うバトー		
215	手前にスイカを満載した 坑内車が横断 奥から走ってきた影 後退しながらなお乱射 ドカー!と坑内車の荷台に激 突 スイカゴロゴロ		
216	グッと腰を入れて		

	射撃姿勢に入るバトー 制止もなにもなく いきなりドカドカ発砲 次々に爆発するスイカ 50口径のドでかいマズルフラッシュ
217	手前へ走ってくる影ーのみスロー その足下のスイカ次々に爆発
218	バーン!と板塀を破って
219	係留中の船に着地 大きく揺れて船頭オットト ドンと突き飛ばされて 水に落ちる船頭

220	221	222	223
板塀を蹴り破って踊り出るバトー その周囲にメチャクチャな弾着	俯瞰 乱射する影 頭を抱えて蹲るバトー	船伝いにトントンと八艘跳びで逃げる影	向こう側の浮き歩道へ移動する影ーをポイントしている草薙

224	225	226	227	228
発砲する	凄じい水柱があがり パチパチと不快な音をたてて 光学迷彩が破れる（濡れると パアです） 委細構わず応射する男	パパパ・・・と弾着 既に草薙の姿はない	両側のビルが崖のように迫る 狭谷のような水路へ 段差を越えて手前へ	走る男の主観 両側に迫るビルの間から

	僅かに望む空		
229	俯瞰 必死に走る男 迷路の様な水路		
230	立ち止まって後ろを確認しながらコートの前を開く 奇妙な静けさ コートを脱ぎながら周囲を見上げる		
231	台回し 廃墟のような静けさ 空がスーッと明るくなる		
232	俯瞰		

	233	234	235	236
細い流れに映る空 ぼんやりと空を見上げている 男（間） ふと我に返って銃を調べる	弾倉を引き出して残弾を見る 残り少ない（見た目）	顔を上げて 再び来し方を見遣り走り出す	走る男 影から出るところから ゴォォォ・・・と爆音	走る男主観 T・U

237	走る男 オォォ・・・ンと余韻
238	走る男 FOLLOW 足の運びを弛めて
239	一気に開ける視界 高層ビル群が遠くに霞んでいる 素早く背後を一瞥してから 奥へ向かって斜面を走り上る
240	上がってくる男 背後に大看板の群れ カメラ前で立ち止まり

	ホッと一息入れる 薄く笑いが浮かぶ と、バシャ！と背後で水音		
241	振り向きざま 円弧を描くように発砲　（弾尽きる） 誰もいない、一歩後ずさる男		
242	背後より草薙の声がボソリと ギョッと振り向く		草薙（ＯＦＦ）「それで終わりか？」
243	ムワ〜と目の前の風景が歪み 何かが迫る		
244	バキ！と強烈な一撃で全身虚 脱、体を捩るようにしてフッ		

	飛ぶ男
245	見えない何かに手を掴まれて グイ！とズリ上げられ ビュン！とまるで操り人形の ように宙を回される
246	バシャー！と 水面に叩きつけられる 派手に上がったしぶきで 草薙の姿が一瞬ジ！と浮かび 上がる 広がる波紋に 水面に映った影のみが揺れる
247	ザババザバ体を起こして 右足に隠したナイフを抜き出

	248	249	250	251
す	ザ！と踏み込んでナイフ一閃 （空振り） ナイフで周囲を索制しつつ 位置を変える 一応プロっぽい動きだが ひどく空虚な印象	突然バシッ！と 腕を逆に決められる	メキ！と手首がヘシ折られる	そのまま鮮やかな円弧を描い てすくい投げられる ブン！と一瞬見える草薙

252	再び派手な水しぶきを上げて 叩きつけられるが	
253	そのまま腰を上げて 両足を水車のように回し	
254	一直線に蹴りを入れる その足が何かにガシ！と掴まれゴキ！と一気に捩り折られる	
255	脅威的なバネで撥ね起き 片手片足のバク転を決めて	
256	着地する その目の前にブン！と出現す	

	る草薙 ワンツーでババ！と目にも止 まらぬジャブと掌底を放ち	
257	恐ろしく早い回し蹴り一閃	
258	ダブルアクション	
259	ダブルアクション	
260	ドッと倒れる リアクションタップリと	
261	ゴーグルに手をやる草薙 ハラリとヴェールが開く 息ひとつ切らしていない 相変わらずの無表情	バトー（OFF）「終わったか？」

カット	内容	セリフ
262	しゃがみ込んで水の中に落ちたSMGを拾い上げているバトー ヨロヨロと顔を上げる男 初めて喋る セリフ後立ち上がる	バトー「こんなんで強装弾なんか撃つから・・・フレームガタガタ。バレルも駄目だなこりゃ」 男「逮捕しても無駄だ！　何も吐かんぞ！」 バトー「吐くぅ・・・？」
263	うんざりしたように	バトー「自分の名前も知らねェ野郎が偉そうなことヌカすな馬鹿」
264	虚を突かれる男 Ｔ・Ｕスタート Ｔ・Ｕ止まってからゆっくりとカメラに向かって顔を上げる男 憑きものが落ちたような空白の顔	草薙（ＯＦＦ）「母親の顔、生まれた街の風景、子供の頃の記憶・・・何かひとつでも覚えているか？」

	（間）		
265	見下ろしている二人 バトー、草薙に上着をかけて やりながら バラバラとヘリの音 （警察のヘリ） バトー見上げるが 草薙は見下ろしたまま ヘリの音ズリ上がって		バトー　「ゴーストのない人形は哀しいもんだぜ。 特に赤い血の流れてる奴はな」
266	降下してくるヘリ （別の場所）		
267	マレス邸 庭に降下してくるヘリ		

268	庭の林の中 荒巻を中心に9課のメンバーと突入隊員 荒巻の指示でキビキビと動く	荒　巻　「ヘリの客が屋敷に入ったら突入するぞ。 B班は裏、残りは正面に回れ。
269	モニターの前に座り込んでいる荒巻	サイトー、お前の班で屋敷内の車のプラグ、全部抜いとけ」
270A	モニター画面 RECマーク出る	荒巻（OFF）「録画始めろ」
270B	切り替え "人形使い" UP カメラ次々と切り替わる	声（OFF）「本部から部長宛です！」 バトー（無線）「少佐のとっ捕まえた男の身元が割れました」 荒巻（OFF）「聞こう」 バトー（無線）「（名前）[サンゲンファ] 28歳。出入国管理法違反、 銃砲等不法所持等、前科3犯・先月末

屋敷へ向かう"人形使い"
出迎えるマレスと
そのボディガードたち

その寄りサイズ
俯瞰
マレス二言三言話す
何か揉めている雰囲気

に所在をくらますまで難民系の武力闘争組織に所属。
一週間程前に、その前歴をかわれてガベル共和国政府の大使館付武官に、秘密会談を襲撃するように依頼を受けた・・・と。報酬は10万ドル」

荒巻（OFF）「で、本当のところは？」

バトー（無線）「通称コーギ。職業は、ちょっと物騒な廃品利用業者・・・チンピラとも言いますけどね。これ、所轄の警察署の前歴者リストで確認済み。
どこをどう突っついてもガベルとの関係なし。"人形使い"に操られた人形ですよ」

荒巻（OFF）「イシカワの方は？」

バトー（無線）「もう戻ってきて、現在トグサと一緒に哀れな清掃局員を説得中。

カット	内容	秒	台詞
	振り向いてカメラを見る ”人形使い“ 意味不明な空虚な薄笑い		・・・で、そっちに現われた ”人形使い“ は？ どんな感じの奴です？」
271	振り向いてカメラを見る ”人形使い“ 意味不明の空虚な薄笑い モニターを見つめたままひどく疲れた表情を浮かべる荒巻 声のみ交錯 無表情に戻って ダダ！と動き出す 周囲の隊員たち その動きの中でF・O		荒巻「（ボソリと） ・・・人形みたいな奴だ」 声（OFF）「B班配置よし！」 声（OFF）「A班及びC班よし！」 声（OFF）「突入準備完了しました！」 荒巻「突入しろ」

272	早いF・I 暗い取調べ室 ゆっくりとT・U	清掃局員B「疑似体験て、どういうことです?」 トグサ「だから、奥さんも娘も離婚も浮気も、全部ニセモノの記憶で、夢のようなもんなんです。あなたは何者かに利用されて、政府関係者にゴーストハックを仕掛けてたんですよ」 清掃局員B「そんな・・・まさか!」
273	早いF・I ゆっくりとT・U 暗いアパートの一室 荒れ果てた独身者の部屋	イシカワ（OFF）「あんたのアパートに行ってきたんだ。誰もいやしない。独り者の部屋だ」 清掃局員B（OFF）「だから、あの部屋は別居の為に借りたアパートで・・・」 イシカワ（OFF）「あんたはあの部屋でもう10年も暮らしてるんだよ!」
274	早いF・I 微速T・U	イシカワ（OFF）「奥さんも子供もいやしない! あんたの頭の中にだけ存在する家族な

つけっ放しのTV
女性タレントのCM
無音、オーバーアクションで

んだよ!」

275

差し出される写真

手に取って喰い入るように
見つめる(間)
不安な表情のまま
ポロポロと涙がこぼれ落ちる

トグサ　「ごらんなさい。
　あなたが同僚に見せようとした写真だ。
　・・・誰が映ってます?」

清掃局員B　「確かに映ってたんだ。オレの娘・・・
　まるで天使みたいに笑って」

トグサ　「その娘さんの名前は?　奥さんとはいつどこで知り合い、何年前に結婚しました?
　そこに映っているのは誰と誰です?」

276

写真
本人しか映っていない
軽薄にVサインなど

277	マジックミラー越しに取調べ室を見ている 草薙とバトー（T・B） スピーカーから声	清掃局員B トグサ	「・・・そのウソ夢、どうやったら消せるんです？」 「残念ながら現在の技術では・・・。成功が2例報告されているだけで、とてもお薦めできません。お気の毒です」
278	見つめたまま その場を離れながら 草薙のみ残る（間） カット尻 バトーの開けたドアから光	バトー	「疑似体験も夢も、存在する情報は全て現実であり、そして幻なんだ。・・・どっちにせよ、一人の人間が一生のうちに触れる情報なんて僅かなもんさ」
279	凝っと見つめている草薙ーよりT・B（カメラ目線） T・B		

	ボコボコと気泡 窓枠F・Oして 更に一筋上がる気泡 （BG、O・L） 沈下してゆく草薙
280	カメラ前を擦り抜けるように 更に沈下してゆく ヌリ色O・Lで
281	フローター作動して 沈下速度低下 （FOLLOW・DOWN）
282	沈下止まり 上半身から浮き始める

283	浮き上がってくる草薙 まだ目を閉じている 目を開く
284	草薙主観 ぼんやりと明るい海面が見えてくる
285	鏡のような海面に映る自分の鏡像へ接近
286	迫る鏡像を 目を見開いて見つめる 融合した瞬間 波紋となって崩れる鏡像
287	黄金色に輝く海面に浮上

	ゆっくりと 現実音が聞こえてくる 遠い港の音、湖の響き 海鳥の声、微かな船の航行音
288	俯瞰 漂ったまま 放心したように空を見あげる
289	草薙主観 視野一杯に広がる黄昏の空が ゆっくりと揺れている
290	境界も定かでない 海と空のあわいに浮かぶ 近づいてくるエンジン音 に顔を向ける

291	水滴の落ちるゴーグルの視界 近づいてくるクルーザー		
292	ラッタルを伝って 舷側から甲板にあがる草薙 腰を下ろして フローターを外しにかかる		
293	ゴトリと背後へ 反対側の手すりに腰かけたバトー		バトー 「サイボーグが非番に潜りに来るなんてな、いい傾向じゃねぇな。いつ頃から始めたんだ、こんなこと」
294	濡れた髪を後ろへ撫でつけながら フローターを手に立ち上がる バトーを一瞥してキャビンへ		

295	キャビンへ向かう草薙へ 厳しい口調で		バトー　「海が怖くないのか？　もしフローター が作動しなかったら・・・」 草　薙　「その時は死ぬだけよ。それとも飛び込 んでたすけてくれる？」
296	カチンときて顔を上げ 振り向いて何か言いかけるが 言葉を呑む		草薙（ＯＦＦ）「無理につき合って貰った訳じゃないわ」 バトー　「俺ァ・・・！」
297	バトーの目線で キャビンの草薙 セミの脱皮のように背中を割 って現われる白い裸体		
298	怒ったような表情で		

	顔を背ける（無言の間）
299	バトーの正面に ライトアップされた新市街が 重く揺れている
	O・L
300	旧市街の夜景を前 新市街の灯りを背に 浮かんでいるクルーザー キャビンに灯り
301	後部デッキ リラックスした雰囲気 缶ビール（らしきもの）を手 にキャビンから上がってくる バトー、チラと草薙を見て 座り込んでリップを開ける

	その姿勢のまま	バトー「な、海へ潜るってどんな感じだ？」 草薙「アンダーウォーターの教程、済んでるんじゃなかった」 バトー「あんなプールの話を訊いてんじゃねぇよ」
302	顔をもどして 新市街の方へ顔を上げて	草薙「・・・恐れ、不安、孤独、闇。それから、もしかしたら希望」 バトー（OFF）「希望？　真っ暗な海の中で？」 草薙「海面へ浮かび上がるとき、今までとは違う自分になれるんじゃないか・・・そんな気がする時があるの」
303	バトー、グイと呑んで目線を落とす（言いだしかねている）	

307

新市街を背後に
BGフォーカスアウトしつつ
T・B

や反射の飛躍的な向上、情報処理の高速化と拡大・・・電脳と義体によってより高度な能力の獲得を追及した挙げ句、最高度のメンテナンスなしには生存できなくなったとしても、文句を言う筋合じゃないわ」

バトー
「俺たちゃ9課に魂まで売っちまった訳じゃないんだぜ」

草薙（OFF）
「確かに退職する権利は認められてるわ。この義体と記憶の一部を、つつしんで政府にお返しすればね」

草　薙
「人間が人間であるための部品が決して少なくないように、自分が自分であるためには、驚くほど多くのものが必要なのよ。
他人を隔てる為の顔、それと意識しな

カット	画面	セリフ
	ゆっくり顔を上げる セリフと同時にT・U、ST OP セリフ後 （間）	い声、目覚めの時に見つめる掌、幼かった頃の記憶、未来の予感・・・・ それだけじゃないわ。私の電脳がアクセスできる膨大な情報やネットの広がり。それら全てが＜私＞の一部であり、＜私＞という意識そのものを生み出し・・・ そして、同時に＜私＞をある限界に制約しつづける」
308	避難するような口調で言い捨てて缶を傾けようとするが頭の中に突然声が響く	バトー「それが沈む体を抱えて海に潜る理由か！暗い海の底で、一体何が見えるってんだ」 草薙（無線）「今我ら鏡もて見る如く見るところ朧なり・・・」
309	草薙自身の頭の中にも響く	草薙（無線）「されど、かのときには顔を対せて相見

カット	内容		台詞
	驚いて顔を上げる		ん・・・」
310	(間)あって 思わず腰を浮かせて 草薙を見るバトー 一瞬顔を合わせる二人 不安な表情で周囲を伺う草薙		バトー　「・・・今の、お前だよな?」
311	顔を戻す不可解な表情 (間) 背後に気配に気づく		
312	俯瞰 ゆっくりとT・U 風が渡り髪が大きく波打つ		

313	バ！と振り向く （T・U、STOP） 大きく見開かれた目 髪のリアクションの中で 早いホワイトF・O
314	轟音とともにホワイトF・I 旧市街 ビルの屋上スレスレに 降下してくる旅客機の奇怪な シルエット（スロー）
315	ビル壁面の映り込み 歪んだ影に呑み込まれてゆく （スロー）
316	看板がひしめく水路の街

317	水路と歩道と高架道路が共存する複雑な街路		
318	裏通りの水路		
319	ゆらゆらと揺れる看板の影を進む船の影（ＦＯＬＬＯＷ）		
320	水路をゆく二階建て風の水上バス		
321	水上バスのキャビンより（ＦＯＬＬＯＷ）		
322	密マルチＦＯＬＬＯＷ		

		323	324	325	326
窓の映り込みの中の人影	O・L	（FOLLOW） 草薙らしき女カメラに向かってゆっくり振り向く	水上バス俯瞰 見上げている草薙 行き過ぎながら目で追う （淡々とした表情）	草薙正面FOLLOW 看板送り込み 正面へ向き直る 半ば放心したような表情	草薙主観

	327	328	329	330	331
看板越しに建築中の高層ビル 竹で組まれた足場 O・L	高架道路を潜る 複雑なキャットウォーク O・L	陸橋下の信号 O・L	流れる水面 様々なゴミが漂う	路地から滑るように行き交う 表通りの船	橋の上の犬 密マルチT・B

332	333	334	335	336	337	338	
ショウウィンドウ 複雑に交錯する光と影	流れる影のなかに 草薙の白い顔が浮かぶ 揺れる水面に降り始める雨	街角にふる雨	再び陸橋下の信号	俯瞰　看板等に降る雨	スラム越しに見える超高層 色とりどりの傘が咲く	坂道を流れ落ちる雨水	

339	ポスターの前で雨宿り		
340	激しい雨 しぶきあげる看板（逆光）		
341	夜の繁華街の光が滲む 降り続ける雨		
342	繁華街の水路 目映いネオンが滲み 影絵のような人々が行き交う		
343	ウィンドウに映る ネオン船の大モニターのＣＭ		
344	深夜 水路に面した街角に灯のつい		

	たショウウィンドウ ゴロゴロと雷鳴あり
345	降り続ける雨 ウィンドウの中に人影
346	無人の街頭でポーズをとりつづけるマネキン人形 F・O
347	激しい雨 高速道路の路面を雨滴が叩いている 裸の足IN 対向車のヘッドライトに浮かび上がる

348	一瞬女の全身を照らし通過してゆく、ゆっくりと歩く女 （ＦＯＬＬＯＷ） 背後より近づく光、突然アッパーになり立ち止まる		
349	ゆっくりと振り向く女の白い顔、ゾッとするほどの無表情		
350	逆光 激しくクラクションを鳴らし 急速に接近するトラック		
351	立ち尽くしている女 その陶器のような顔へ		
352	その見た目で、のしかかるよ		

うに迫るトラック
凄じいブレーキ音
ブン!と映像消える

353

闇の中から声
ノイズの合間に
カチカチと電気音
ビュゥゥンと
視野が回復する
モノクロからカラーへ
9課ラボ
その視野が彼方のデッキ上に
切り替わる
荒巻、バトー、トグサ
INしてくる草薙
途中から音声が回復
蛙の面に小便の草薙

声「センサー動き始めました」
声「補助電脳との接続チェックよし」
声「視覚センサー動き始めました」
声「義体信号は？」
声「正常に出力中」
荒巻「（遅れる）なら遅れると連絡ぐらいせんか!」

	更に切り替わり 草薙のUPを捉える		
354	検死官の声が流れる （スピーカー） 軽く手を振る荒巻		検死官　「準備できました。継なぎます?」
355	ベッド上の全裸の義体 スイッチ音とともに 激しく撥ね上がる 大きく揺れる胸が生々しい そのまま痙攣のように 体を震わせる		
356	モニター 濃密な波形（ゴースト障壁） 何度か切り替わる		

357	義体UP 痙攣しつづけるが 無表情のまま		
358	眉を寄せてその表情を 覗き込む草薙		
359	ラボ全景 目映い光の中で 痙攣しつづける義体		
360	検死官、自分の席から チラと荒巻を伺う 言い捨てて 踵を返して立ち去る荒巻		検死官　「よおし・・・充分だ、切れ！」 荒　巻　「3分後に課長室へ出頭しろ」

361

その場に残った
バトーたちの会話

草薙
促すようにバトーを見る

バトー
「遅刻してきたお前のために親切なオレが説明してやるとだな、・・・2時間程前、ニューポートシティにあるメガテクボディ社のラインが勝手に義体を造り始めたんだそうだ。それに気がついた係官が到着した時には、義体はすでに逃走・・・で、非常線を張って捜索していたところへ、高速道路上をウロついてた裸の女を撥ねちまったってェ良心的な運ちゃんから通報があり、ここへ持ち込まれたってわけ」

トグサ
「メガテクボディ社ってのは政府御用達のメーカーで、そこで造ってる義体は全て機密なんだって」

バトー
「ハッカーの仕業だとすると、攻性防壁を潜る凄腕だが、問題はそれだけじゃないんだ」

362	バトーUP 表情を殺して （間）		バトー 「奴の頭ン中には勿論ひとカケラの脳ミソも入っちゃいないんだが・・・・・・補助電脳の中にはどうやらゴーストらしきものが存在するんだと」
363	ホログラム映像 ゴーストラインと合成した義体の映像 同じ動き 同じ波形の繰り返し		検死官（ＯＦＦ） 「ゴーストをダビングした時に生じる疑似ゴーストラインに似ていなくもないんですが、ダビングに特有の情報の劣化が見られません」
364	課長室 ホログラムを見つつ検死官のグダグダした説明を聞いている一同 ホログラム、ストップモーシ		検死官 「いずれにせよ、障壁周辺の地図を作成した上で潜ってみなけりゃ確証はありませんがね。 ・・・じゃ、私あれの検査の途中なんで」

ョン
机から下りて
さっさと席を外す
ドアの開閉音
ぼんやりとみつめつづけている一同
トグサ、さすがに見渡して
顔を戻し遠慮がちに

荒　巻「御苦労」
検死官「さぁ～～て、バラすかァ！」
トグサ「もしかして皆さん、あの義体にゴーストがあるなんて、本気で思ってる？」
バトー「あり得るな」

365
再びホログラム
痙攣する女の顔

バトー（OFF）「セルロイドの人形に魂が入ることだってあるんだぜ。まして奴は脳医学用の素子（デバイス）を、詰め込めるだけ詰め込んでるんだ。魂が宿ったって不思議はねぇさ」

366
バトー、少し憂鬱そうに

バトー「それにお前は新米だから知らねェだろ

声を落として

うがな・・・」

367

ハッとして
思わず草薙を見る

バトー（OFF）「少佐の義体もメガテクボディ社製なんだ」

368

再びバトー

口許を歪めて

バトー「少佐だけじゃねぇ。オレやイシカワの体の一部、サイトーや他の連中もメンテナンスやら何やら・・・部長とお前を除いて9課のほぼ全員があそこのお世話になってるのさ。・・・オレたちがユーウツな顔並べてる訳が少しは判ったかなトグサ君」

369

ホログラムを見つめ
凝っと考え込んだまま

草薙「外因性と仮定して、敵が義体の中か外かは判らないけど、そいつは最高機密の防壁を潜り抜けて義体を組み立て、ゴーストラインのあるプログラムを送

カット	内容	台詞
		り込んだ」 バトー（ＯＦＦ）「それもすぐ捕まるようなやり方でな。目的は何だ？」
370	荒巻、椅子を回し いつもと変わらぬ口調で トグサ、動き出す気配	荒　巻「窃盗の線は忘れよう。トグサ、現場検証に行ってるイシカワと合流してメガテク社を洗え。バトー、メガテク社と同じクラスの機密を扱うネットを封鎖させたが、防壁が機能しとるかどうか、再チェックしろ」
371	立ち上がりながら ドアの方へ歩き出す	草　薙「私は防壁迷路を組み上げるわ。明日あれにダイブしてみる」 バトー「ヤバいんじゃねぇか。義体を換えて泳がすって手も・・・」

372	立ち止まって 厳しい口調で言って カメラ前へ	草薙	「あの義体の中にいるのが何なのか、どうしても確かめなくちゃならないのよ 私が潜るまで誰にもダイブさせないでよ！」
373	草薙の勢いに呑まれて 見送る荒巻とバトー ドア閉まる音して ドアへ向かいながら ブツブツ言いながら ドスドスとOUT	荒巻	「あいつ、どうかしたのか？」
		バトー	「"人形使い"の一件以来、変なんだって相互評価のレポートに書いといたでしょうが・・・読んでねぇのかよ！」
374	途中で振り向いて	バトー	「部長、自分の脳をいじくらせてる電脳医師の人格を疑ったことは？」
375	憂鬱そうに	荒巻	「電脳医師は定期的な精神鑑定を義務づけられとるし、公安関係の医師は身辺

	ドア閉まる音 インターフォンより 少し怪訝な表情を浮かべるが		調査も入れとるが・・・それを実行するのも、同じ人間だ」 バトー（OFF）「疑いだせばきりがない・・・か」 声　「部長、外務省条約審議官の中村様が面会を求めてます」 荒巻　「ん？・・・よし通せ」
376	エレベーターの扉が開いて 中村とウィリス		
377	エレベーター内より		
378	チラと草薙を一瞥して 擦れ違う中村		
379	同じく草薙 ダブルアクション		

380	狭い廊下 歩み去る二人を しつこく見送るトグサ	
381	エレベーター内俯瞰 扉閉まって下降開始 それきり沈黙 一同動かない （草薙目パチあり） 扉開いてトグサ下りる （B1駐車場） 再び閉まり下降開始 二人きりになる	トグサ　「あの太っちょのオッさん、確か・・・」 草　薙　「外務省条約審議部、別名公安6課の中村部長。ノッポの白人は見ない顔ね」 トグサ　「（バトーに）じゃ、行ってくるぜ」 バトー　「あんまりムリすんなって、イシカワに言っとけ」
382	少し（間）あって カット全体に渡り動き	バトー　「・・・何を考えてる」 草　薙　「あの義体、私に似てなかった?」

最小限で

少し（間）

バトー　「似てねぇよ」

草　薙　「顔や骨格だけじゃなくて」

バトー　「何の話だ？」

草　薙　「私みたいに完全に義体化したサボーグなら誰でも考えるわ。・・・もしかしたら自分はとっくの昔に死んじゃってて、今の自分は電脳と義体で構成された模擬人格なんじゃないか。いやそもそも始めから＜私＞なんてものは存在しなかったんじゃないかって」

バトー　「お前のチタンの頭蓋骨ん中にゃ脳ミソもあるし、ちゃんと人間扱いもされてるじゃねぇか」

草　薙　「自分の脳を見た人間なんていやしないわ。所詮は周囲の状況で＜私＞らしきものがあると判断しているだけよ」

	押し黙る二人 到着して扉開く バトー進み出ながら 小さく罵倒する 出ようとする草薙の前に 立ち塞がって	バトー「自分のゴーストが信じられないのか」 草薙「もし電脳それ自体がゴーストを生み出し、魂を宿すとしたら・・・その時は何を根拠に自分を信じるべきだと思う?」 バトー「くだらねぇ!」
383	バトーUP	バトー「確かめてみるさ。あの義体の中に何があるのか、自分のゴーストでな!」
384	課長室 ドアの開く音に顔を上げ フレムインして	中村（OFF）「お互い忙しい身だ。手短かにいこう」 荒巻「そうありたいものだな」 中村「例の義体の中身を回収にきた。

No.	画面		人物	台詞
				見返りに君たち9課はこの件から解放される」
385	書類を出して		中村	「外務大臣のサインだ」
386	地下駐車場 トグサ、車のドアに手を掛ける（指紋照合） カチャとドアを開け乗り込もうとして前方に目を止める			
387	並べて駐車してある 2台の公用車 手早く乗り込んで			
388	ドア閉める 座ると同時にスイッチを入れ		トグサ	「保安部、地下駐車場に入ってる公用車は？」

	て ちょっと間あって ウィィンとモニターが展張	声「条約審議部の中村部長と同伴者、ドクターウィリスで登録されています」 トグサ「入館時の映像を送ってくれ」
389	車載モニター ブン！と映像出る 監視カメラのアングル 館内に入る中村とウィリス 気密ドアが閉まるまで リピート 熱赤外線映像 二人以外に誰も映っていない	トグサ（ＯＦＦ）「もう一度、赤外で」
390	少し考えて 覗き込むようにして カチャカチャとスイッチ操作	

391	再びモニター 高速サーチしてストップ 再びノーマルで再生 ドアが閉まるまでの 時間を教える 3つ教えたところで ドア閉まる		トグサ（OFF）「・・・1・・・2・・・3」
392	コクピット 公用車の方に目を凝らして 再びモニターに目をやる		トグサ「地下駐車区画の感圧計の記録を回して くれ・・・Bの7と8」
393	モニター画面 駐車区画のマップ 立体的にスクロールする B-7、8区画の記録が出る 時間が進行して		

394

ある時点で数値が変化する

シートに凭れ少し考えてから
隊員同士の直通回線で
呼び出す（秘匿周波数）
切り替わるような音
草薙の応答あって
頭起こす（公用車に目線）

トグサ（無線）「少佐・・・こちらトグサ。
コード０９」
草薙（無線）「・・・どうした」
トグサ（無線）「中村部長の体って特注の義体？」
草薙（無線）「６課にサイボーグはいないわ。海外で
活動する都合上、メンテナンスと相手
国の感情を考慮してね」
トグサ（無線）「じゃ、あのノッポの白人がサイボーグ
だったとしても、二人の体重が５００
キロを越えるなんてことはない訳だ」
草薙（無線）「感圧記録ね。・・・駐車場？」
トグサ（無線）「高そうな車が２台。二人とも自分で運
転するタイプにゃ見えなかったんで。
監視カメラの映像には二人しか映って
ないけど、入口のドアって、やたら感

	「確か・・・」で スチャ!とマテバを抜き ニヤリと笑いを浮かべて もう一度公用車の方を見る	度良かったでしょ。閉まるのが3秒ほど遅いんだ。 確か政府施設内での熱光学迷彩の使用は違法でしたね」 草薙（無線）「国家機密法違反で重罪よ。 6課が何かヤバいこと考えてるわね。 ・・・用意できてる?」 トグサ（無線）「マテバでよければ」
395	上層より降下してくる メンテナンスベッド	
396	ラボ／F・Iへ 白色光を浴びて 棺のように降下してくる	
397	ベッドの角度が変わって	

	下半身のない姿が見えてくる シュゥ・・・ンと この位置で停止
398	中村、ウィリスに目配せ 無言でコンソールに回る ウィリス
399	義体を見る 改めてコンソールに向かい 手を差し出す
400	バシャ!と 義手が左右各14本に変形
401	凄じいスピードで タイピングを始める

402	その手元 ジャジャジャとキーを打つ 義手の28本の指の動き		
403	モニター画面 超高速で打ち込まれる大量の プログラム 奔流のようなスクロール		
404	義体UP その目がスーッとウィリスを 伺う		
405	義体の傍らで 荒巻と中村、腹の探り合い 義体の目線ゆっくりと戻る		荒巻 「言うまでもないことだが、我々の間ではいかなる機密も明らかにせねば、国家への反逆を問われる」

ピー！と
ピープ音が鳴り響く

中村「お互いにな」
荒巻「外務省の意向がどうあれ、これは9課が担当すべき事件だ。
だが、納得できる理由さえあれば協力するにやぶさかではないがな」

406
モニターを見つめたまま
義体の方を見て

中村「ドクター！ウィリス？」
ウィリス「確認した
・・・間違いなく彼だ」

407
不審気に
二人を見上げて

荒巻「彼？」
中村「この義体の内部に存在するゴースト障壁のオリジナルのことだ。
もっとも性別は未だに不明で、＜彼＞とはドクターのつけた愛称に過ぎんがな。
・・・あらためて紹介しよう」

408	見た目で 全く動かない義体	中村（OFF）「こいつは電脳犯罪史上、もっともユニークと評されたハッカー・・・ "人形使い"だ」
409	驚愕する荒巻 体ごと向き直る	
410	保安部モニタールーム ラボの様子をモニターしている草薙ゆっくり顔を上げる 再び流れ始める中村の声	中村（無線）「君たち9課も、外相の通訳のゴーストハック事件で、奴に遭遇した筈だ」
411	何故か口許に微笑が ゆっくりと浮かび上がる （微速T・U）	

カット	画面	台詞
412	モニター画面 強い光を浴びている 架刑台上の義体 情報が劣化して 意味を襲う寸前まで 強引にT・U	中村（OFF）「我々6課はその出現当初から重大な感心をもって”人形使い“を追い続けていた。ドクターウィリスを中心にプロジェクトチームを作り、”人形使い“に関するあらゆるデータを分析して、その犯罪の傾向や行動パターンを特定した。 そして対人形使い用の特殊攻性防壁を組み上げて、彼がどこかの機密ボディに入るように仕向けた」
413	同上／荒巻	荒巻「つまり”人形使い“を義体の電脳にダイブさせ、その間に本体を暗殺した」
414	同上／中村	中村「そんなところだ」

416

義体を前に

電圧が下がったように
室内の照明が一、二度明滅
暗くなる
ベッドの照明のみノーマル
表情はそのまま
突然喋り出す義体
ギョッとして振り向く二人
「何故なら・・・」で
義体が顔上げる

416

何故か慌てて

中　村　「たまたま君たちの庭に出てきたが、奴はアメリカ生まれだし、アメリカの協力で捕まえたのだから我々の手で回収したい。依存あるまい」

荒　巻　「奴の死体はどこかで誰とも知れぬまま発見される訳か・・・」

人形使い　「死体は出ない。・・・何故なら今までボディは存在しなかったからだ」

中　村　「センサーが作動していたのか!?」

			何故先にそれを言わん！」
417	検死官 モニターから顔を上げて	検死官	「外部コントロールは切れてます！ 義体の自律的出力だ！」
418	御宣託する義体 「一生命体・・・」で 僅かに顎を引く	人形使い	「義体に入ったのは6課の攻性防壁に逆らえなかったためだが、ここにこうしているのは私自身の意志だ。 ・・・一生命体として、政治的亡命を希望する」
419	意外な言葉に 茫然と見上げる二人	荒巻 中村	「生命体だと!?」 「バカな！　単なる自己保存のプログラムに過ぎん！」
420	義体UP	人形使い	「それを言うなら、あなたたちのＤＮＡもまた自己保存のためのプログラムに

表情が僅かに変わる
慈母の如き
柔和な微笑を浮かべて

過ぎない。
・・・生命とは情報の流れの中に生まれた結節点のようなものだ。
種としての生命は遺伝子という記憶システムを持ち、人はただ記憶によって個人たり得る。
たとえ記憶が幻の同義語であったとしても、人は記憶によって生きるものだ。
コンピュータの普及が記憶の外部化を可能にした時、あなたたちはその意味をもっと真剣に考えるべきだった」

421 義体なめて

中村
「詭弁だ！
何を語ろうと、お前が生命体である証拠はなにひとつない！」

422 義体

人形使い
「それを証明することは誰にとっても不

		可能だ。現代の科学は未だに生命を定義することができないのだから」
423	やや畏怖の念を覚えつつ	荒巻「一体何者なんだ?」 中村「仮にお前がゴーストを持っていたとしても犯罪者に自由はないぞ。亡命先を間違えたな」 人形使い「時間は常に私に味方する。ボディと共に私は死の可能性も得たが、この国には死刑がないからだ」 荒巻「半不死・・・人工知能か?」 人形使い「AIではない」
424	義体正面UP 厳かに宣言する (微速T・U) このセリフは口パク	人形使い「・・・私のコードは プロジェクト2501 (間) 私は情報の海で発生した生命体だ」

425	息を呑む荒巻 その傍らの中村がさり気なく 光の圏内から身を引く		
426	突然の銃撃 弾け飛ぶコンソール		
427	次々に消しとぶモニター		
428	ボン!と ベッドを中心に煙幕が広がる		
429	たちまち室内に充満 激しく咳き込みながら 叫ぶ荒巻		荒巻 「・・・保安部・・・侵入者だ!」

その背後で
銃撃のマズルフラッシュ

430
ズバン！と
吹き飛ばされるラボの扉
吹き出す煙
その煙をフワリと巻いて
飛び出してくる気配（熱光学迷彩）
今頃になってようやく
警報が鳴る

431
空になっているベッド
強制換気ファンの音

検死官　「部長！　人形使いが！」

432
みるみる薄くなるガス
応答がなく

中　村　「一体どうなってるんだ！
　ここの警備はッ!!」

カット	内容		セリフ
	イラつく荒巻		荒巻 「保安部！　隔壁閉鎖だ！ ・・・保安部どうした！」
433	ビル裏手（雨） 二階部分からドン！と吹き出す爆煙 車キキ！とIN		
434	壁の穴から飛び出してくる三人の影 雨に打たれて一瞬だけジャ！と光る		
435	バシャバシャと水しぶきをあげて着地 一瞬何かを積み込む姿が見えてドアを閉めながら急発進		

436	角を曲がって ダッシュしてくる逃走車 その前に立ち塞がるトグサ
437	ドカドカ発砲
438	弾着が防弾装甲に火花をあげる
439	擦り抜けてゆく車をかわして なおも発砲（都合6発）
440	表通りへ飛び出そうとする 逃走車の前に ズーンとトレーラーが フレームインする

	急ブレーキ
441	膝をついて シリンダーからケースを抜き 腰のベルトを探るトグサ
442	その手元妙な形の弾を込める
443	パアパアとクラクション 一度バックする逃走車 トレーラもゆっくり移動 何か喚いている運ちゃん
444	トグサ、スチャ！と構えて 慎重に狙う 発砲（弱装弾）

445	バコ！とプレートにめり込む	
446	ようやく移動したトレーラーの鼻先を掠めて飛び出す逃走車 振り向いて合図する	運転手「バカヤロー！」 バカヤロー
447	立ち上がって応え 右手だけでケースを抜く そこへバトーから通信	バトー（無線）「やったか？」
448	走行中の車のコクピット モニターのスイッチ入れる	トグサ（無線）「頑丈な車だぜ。9ミリじゃ傷もつかねぇや」 バトー（無線）「手前ェのマテバなんざあてにしてねぇよ」
449	モニター MAP上に点滅する光点	バトー（無線）「よォし、新米にしちゃ上出来だ」 トグサ（無線）「ナンバープレートに一発。いい腕だろ

	（バトーの見た目）	
450	ＦＯＬＬＯＷ グッと踏み込む	バトー（無線）「次からは二発撃ち込め、始めるぞ、奴らが車を換える前に追いつけよ」
451	ギャー！と飛び出す バトーの車 （ＦＯＬＬＯＷ）	
452	中村 振り向いて高飛車に	中　村「この件は外務省を通じて正式に抗議するからな！」
453	まだ微かに ガスの漂う室内 嫌味を言いつつ去る	中　村「奴を捜し出して私に報告したまえ！ 勿論生きたままでだ！」 ボディだけならメガデク社で幾らでも造れるからな」

454

その背をにらみつけている
荒巻に通信が入る
スイッチを押して

草薙（無線）「"人形使い"を拉致した連中はバトーとトグサが尾けてるわ」

455

ジーッと上がるジッパー
暗く狭い室内でアーマード
スーツを着ている草薙
アームプロテクタの
ホックをとめる

草　薙「高速25号に乗ったところよ」

荒巻（無線）「どういうことだ！　モニターしていたのなら何故・・・」

草　薙「ここで押さえたんじゃ6課との繋がりを証明できないかもしれない」

荒巻（無線）「6課が!?」

456

荒巻、ゆっくりと歩き出す
駆けつけてきた
保安部員たちと擦れ違い

草　薙（無線）「間違いないわ。私のと同じ２９０２光学迷彩。あれを使ってるのはうちと、レンジャー4課。それに6課だけよ」

457

ブーツを固定する

荒巻（無線）「整理しよう。6課は"人形使い"をボディに追い込んだ」

		草薙	「"人形使い"は逃げ込む先として何故か9課と縁の深いメガテクボディ社を選んだ。そして奴が生命体であることを主張し、亡命を希望すると汚い手で連れ去った—」
458	エレベーター ドカドカ走り抜けてゆく 保安部員たち 扉閉まって動き出すまで	荒巻 草薙（無線）	「しかし何故そんなことを? 調書を取ったら引き渡したのに」 「奴の口から何かが洩れるのを恐れたとしたら?」
459	カチャ!と スライドカバーを開ける 角度を変えてチェック	荒巻（無線）	「そういえば妙な事を言ってたな。コード名プロジェクト2501・・・」
460	バシャ!と戻し マガジンを装填する	草薙	「そっちの線は任せるわ。9課襲撃犯の逮捕および重要証拠物件の押収を・・・」

			荒巻（無線）「許可する」
461	振り向いてコクピットに 応えるパイロット		草薙「よし行け！」
462	9課本部屋上へリポート 離陸するヘリ		
463	航空灯を煌めかせ ″POLICE″の文字が 遠ざかってゆく		
464	通信室の扉前 指紋照合を受けながら 無言の間		荒巻「草薙、ひとつだけ言っておくぞ」 草薙（無線）「独走した件なら戻ってから懲罰でもなんでも受けるわ」 荒巻「″人形使い″だが、奪還が不可能な場合は破壊しろ。必ずだ」

	顔を上げて掌を離すと 二重ドアがバシューッと開く	荒巻「どうした！」 草薙（無線）「・・・了解」
465	通信室に入りながら 次々に指示を出す 天井近く 軍艦の戦闘指揮所のような 印象	荒巻「空港に連絡して外務省職員またはアメリカの外交官が乗る全ての便に足留めをかけろ！　道路封鎖と検問だ！ 非番の隊員に非常呼集！ イシカワも呼び戻せ！」
466	傍らの通信員	荒巻「中村が同伴した白人の入館記録から身元を洗え！　それと外務省が関与した企画、作戦、何でもいい・・・プロジェクト２５０１と呼ばれるものを検索しろ！」
467	高速道路 カメラ前からドーン！とフレ	

	ムインする公用車 BG密マルチ トンネルへ	
468	トンネルに突入 後部シートの二人	中　村　「襲撃班からの連絡は?」 6課員A（OFF）「1分前に車を換えました。ダミーとの接触は5分後です」 中　村　「尾行確認を厳重にやらせろ!」 6課員（OFF）「ハイ」
469	中村とウィリス 人形使いを〝彼〟と呼ぶ ウィリスに嫌な顔をする中村 ボソリと	中　村　「それにしても人形使いの奴、よりにもよって何故9課なんかに逃げ込んだんだ?」 ウィリス　「彼のやることだ。我々には想像もつかない理由があるんだろうが・・・」 ウィリス　「もしかしたら、片思いの相手でもいた

	一蹴する中村	のかもしれん」 中　村　「何を馬鹿な！」
470	車窓から外の光の流れを見つめるウィリス 〝人形使い〟の生みの親であり唯一の理解者である悪いオジさんではありません 映り込み明滅	
471	流れるトンネルの照明 ヘリの音ズリ上がる	MUSIC←
472	ヘリの操縦席から見える新市街の夜景 激しい雨がキャノピーを叩く	無線交信←　　「（内容未定）」

477	476	475	474	473
コクピットからの視界 2台挟んで見え隠れする逃走車（密マルチ）	尾行するバトー コンソールの灯に浮かぶ顔 （密マルチFOLLOW）	流れる夜景（密マルチ）	草薙UP 無表情 宙を見たまま沈黙している	キャビンの草薙 銃を抱えて座っている

478	479	480	481	482
尾行するトグサ モニターをチラリとみながら しぶきを上げて 追い抜いていくトラック	ディスプレイ	ディスプレイを見ながら 指示を出す荒巻	高速道路上 装甲車をおろして離陸する 輸送ヘリ（封鎖準備）	動き出す装甲車 雨に濡れながら阻止線を張る 隊員たち

483	バシュー!と延びるロードブロック		
484	位置につく狙撃手 狙点を確認		
485	再びディスプレイ 逃走車につづく一般車輌が 順調に退避してゆく		
486	指示しながらコンソールに向かうオペレーターたち みんな同じ顔		
487	その手元 ロボットの手と動き		

488	空のない新市街の夜景 航空灯を煌めかせてその上を 征くヘリ O・L		
489	光の洪水のなか天地も定かで ない O・L		
490	パースをつけて動画で 影絵のように儚いヘリの印象		
491	ディスプレイ上に表示された ヘリ、移動しつつ点滅 三段マルチ風		
492	通信室 ピーッと通信音		イシカワ（無線）「部長」 荒巻　「イシカワか、どうした？」

493

ダイブルーム
コンソール前のイシカワ
一息入れている
モニターに顔を向けて

イシカワ 「外務省のネットに潜ってたんですが、
いろいろ面白いもんが出てきましたよ」
荒巻（無線）「待て、秘匿回路に換える」
イシカワ 「いいスか、まず中村部長が同伴した白
人ですが・・・」

494

モニター画面
ピロピロとウィンドウ
ドクターウィリス

イシカワ（OFF）「国籍はアメリカ。ニュートロン社
戦略研究部長のウィリス博士。AI研
究の第一人者です。
で、このオッさんが主任を勤めた外務
省のプロジェクトがあったんですが、
そのチームのメインプログラマー。誰
だと思います?」

クリアして
前出のプログラマー

荒巻（無線）「手短に話せ」
イシカワ（OFF）「台田瑞恵28歳。
覚えてます?　いつか6課がしゃかり

きになって亡命を阻止しようとして、相手の外交官を少佐が消した事件。あの時のプログラマーですよ」

荒巻（無線）「続けろ」

495

入口方向を見せて

イシカワ「気になるのはこのプロジェクトがスタートしたのが〝人形使い〟の出現する1年前だってことです」

荒巻（無線）「1年前？　〝人形使い〟を捕獲するためのプロジェクトじゃなかったのか」

座り直し

イシカワ「こういうのはどうです・・・連中は確かに〝人形使い〟を追っていたが、それは捕獲するためではなく、〝回収〟するためだったとしたら？」

496

荒巻

イシカワ（無線）「先日の外相通訳のゴーストハックに

ゆっくりT・U

497

ダイブルーム

背後からT・U

しても、マレスを送還する口実を欲しがってたのは外務省でしょ？
オレたちカマされたのかもしれませんぜ」

イシカワ

「"人形使い"の正体が、外務省が外交上の横車を押すために作り上げたプログラムであり、それが何らかの原因で制御できなくなって慌てて回収を図ったんだとしたら――
連中がここまで強引な方法で9課から拉致したのもうなづけると思うんですがね。
なんせこの事が人形使いの口から洩れたひにゃ、国際問題は必至でしょ。
外務大臣の首が飛ぶだけじゃ済みませんからね」

498	切り替えし リラックスしてはいるが 表情は厳しい 体を起こして再び作業再開 プシューと装着	荒巻（無線）「そのプロジェクトの詳細は？」 イシカワ「さすがに防壁が堅くって判ったのはファイル名だけです。 ・・・コード２５０１。」（間） 荒巻（無線）「捜査をつづけろ。絶対に気どられるな」 イシカワ「了解」
499	インカムを外しながら 何か凝っと考え込む 周囲の喧騒が 潮のように寄せてくる 鋭い声 ハッと顔を上げる	荒　巻「（呟く） プロジェクト２５０１。 ・・・人形使い計画、か」 声「目標、別の車輛に接触します」
500	インカムを戻しながら	荒　巻「バトー！」 バトー（無線）「退避帯に駐車中の白いセダンと接触」

501	モニター画面 ズームして精細表示　"UN" が"E01"に変わる	バトー（無線）「後部シートから何かを載せ換えてるようです。・・・動き出した。 白いセダンもスタート」
502	コクピットのバトー 路肩に寄せてライトを 消している 草薙が割り込む 車をスタートさせ ハンドルを大きく切りながら	荒巻（無線）「ダミーか？」 バトー「そう見せ掛けた陽動かも・・・どうします？」 草薙（無線）「白のセダンはこっちで尾けるわ」 バトー（無線）「そっちが本命だって根拠は。 例のゴーストの囁きか？」 草薙（無線）「そうかもね」 バトー「（呟く）だと思ったぜ」
503	ディスプレイ	
504	大きく機体を傾けて	

Cut	画面		台詞
	変針するヘリ		
505	ディスプレイなめて 二手に分かれて移動する光点		声　「目標02、高速25号を下りて旧市街へ向かいます」 声　「目標01、引き続き25号を空港へ向かって東進。2分後に阻止線に到達」 声　「追跡車の後方、2キロに渡って一般車輌なし。退避完了」
506	バトー		荒巻（無線）「目標との間は?」 バトー「なし、いつでもOK」 荒巻（無線）「押えさろ」
507	雨の高速を疾走する2台の車 後方の車が接近 （FOLLOW）		

508	逃走車コクピット ミラーの中の追跡車に気づく 後方からの光アッパーに変わる 助手席の男、ＳＭＧを取り出してボルトを引く
509	狙撃手なめて 接近してくるヘッドライト
510	緩やかなカーブへ 走り込む逃走車 つづいて追跡車が走り込み 途端にバシャー!と 退路を塞ぐロードブロック
511	前方から強烈な光

慌ててブレーキング

512

ザザー！とスリップして
横向きのまま滑り込み
ロードブロックが
バババ！と小爆発

513

スピンしながらも
なんとか立ち直る逃走車
そこへバトーの車
尻からスリップして突っ込む
ようやく止まる

514

バコン！と
防弾ガラスをブチ破って
飛び込んだ徹甲弾に
撃ち抜かれる運転手

515

つづいて、エンジンロック
前後のホイール
に次々ブチこまれて
たちまちスクラップとなる

516

運転手の死体を前に
竦み上がっている助手席の男
すでに戦意喪失
ベト!と何か張りつき
バーン!と砕け落ちる
サイドウィンドウ
銃口で男をフロントに叩きつ
ける怪力バトー

517

遅れて現場に駆け込んでくる
トグサの車

カット	内容	セリフ
	キキ!と止まって下りてくる 手前に回転灯	
518	アクションつないで 前へ出ながら バトー 入れ替わりに手前へ さっさと車に乗る 振り向くトグサ 頭を突き出して 言うだけ言うとバックで発進	トグサ「アタリ?」 バトー「スカだ!」 トグサ「あーあ、グチャグチャ。何もここまでやるこたねえだろうに・・・」 トグサ「あ、オイ!」 バトー「そいつらを連行しろ。・・・それと部長に連絡して、少佐のバックアップを要請しろ、じゃな」
519	スピンターン	
520	走り去る音 トグサブツブツと 警官に偉そうに指示	トグサ「あんなゴツイお姫さまにエスコートなんているのかね」 トグサ「オイ! 死体はもっと丁重に扱え!」

カット	画面	セリフ
		脳の蘇生が失敗するまでは人権があるんだぞ、ジンケンが…！」
521	水没地区俯瞰 ヘリの視点より空撮風に バシャ！と 暗視カメラの映像に変化 グン！とズームして切り替わり 一本道を疾走する白いセダン （FOLLOW） その道筋にそってカメラを振る（QUICKPAN） 水没しかかった博物館	草薙（無線）「・・・ノクトビジョン」
522	ヘリのサイドドアから見下ろしている草薙	パイロット（無線）「旧市街でもこの辺一帯は水没がひどくて放棄された地域だ。何故こんな

	ゴーグルを上げて	草　薙	ところに?」 「何の意図もなしに逃げ込む筈がない。 船かヘリで海上へ向かうか、待ち伏せか・・・」
523	コクピット	パイロット 草薙(無線)	「増援を待った方がいいんじゃないか」 「待てない事情があるのよ。 海上からあの建物の上へ回して」
524	博物館屋上 奇妙な彫刻をなめて 接近するヘリ		
525	サイドドアより 懸下装置で下ろされる装備ユニット、つづいてワイヤーで 降下する草薙		

カット	内容		セリフ
526	アオリ 航空灯を消したヘリ 僅かにスライド		
527	屋上に着地 中央に巨大なドーム状の天窓 手早くワイヤーを解く 引き上げられるワイヤー ユニットを掴んで立ち上がる （重い—50キロ以上あり）		パイロット（無線）「燃料切れまでここで看視と通信の中継に回る」 草　薙「ヤバそうなら、かまわず すぐ逃げろ！」
528	天窓に沿って進み鉄扉の前に 把手を掴んで力を込める		
529	屋上より ギシギシ開けた扉より		

	530	531	532	533	534
中を覗く草薙	見た目俯瞰 展示台が撤去された後の 巨大なホール 浅く水が溜まっている 中央に白いセダンが停車	二階の回廊に降り立ち 手前の柱の隣からＳＭＧをピタリと構える	サイトなめ	不審気に銃を下ろす	白いセダンの輪郭が

カット	内容	台詞
	僅かに歪んで揺れている	
535	咄嗟に柱の陰へ入る 殆ど同時に 突然猛烈な弾着が襲う 劣化したコンクリートが 石膏のように削り取られる	
536	セダンの上、何もないところ でマズルフラッシュ 影が水面に落ちている	
537	柱の陰	草　薙 「天窓を落とせ！　いますぐ！」
538	ヘリ 機首下のターレット回して	

543	542	541	540	539
驚愕する草薙 慌てて柱に身を寄せる	迷彩が破れて姿を現わす戦車	ドドー！と何もない空間で ガラスがキラキラと砕け 上面装甲がバチバチと光る	一斉に落下してくる 膨大な量のガラスの破片 （スロー気味）	ババー！と発砲 鉄骨に縁取られた天窓の ガラスが砕ける

544	ヘリコクピット驚いて顔を上げるパイロット 突然割り込むバトー パイロットの頭の中でバトーと草薙の会話が錯綜する 頭にきて叫ぶ	草薙（無線）「戦車だ！ 上空へ退避っ！」 バトー（無線）「おい待て！　お前ひとりで戦車とやり合う気か！」 草薙（無線）「あれが人形使いと判った以上、9課へ持ち帰っても、ラボに放り込まれて部長の取り引きの材料になるだけよ！ ダイブする機会は今しかないわ！」 パイロット「オイ、お前たち一体何の話をしてるんだ！」
545	柱の陰で	バトー（無線）「・・・装備は？」 草　薙「ステアのカスタムとユニットB」 バトー（無線）「そんなんでやれる相手かッ！」
546	走る車内のバトー プツ！と切れる	草薙（無線）「悪いけどしばらく通信切るわよ」 バトー「オイ！　せめて俺が行くまで・・・」

カット	内容		セリフ
	悪態をついて ステアリングを大きく回す		バトー　「クソッ！」
547	ギャー！と 裏通りへ突っ込むバトーの車		
548	ガバ！とＳＭＧの スライド部を開ける 素早く持ち替えてリコイルスプリングのガイドを押し込み 銃口を上げるとボルトのグループが抜け落ちる		
549	持ち替えて バレルキャッチを¼回転 バレルがスルリと抜ける		

550	そのバレルを腰に差しつつ 傍らに銃を置き 装備ユニットからマガジンを 抜いて弾種を確認し腰のボウ チに収める
551	戦車正面 僅かに明滅するセンサー
552	マニピューレータ状の ミニバルカンが冷えて収縮し キチキチ音をたてている
553	ユニットに収納された グレネードを引っ掴んで
554	立ち上がりながら

	ポケットに突っ込む 一つを握ったままゴーグルを 下ろしてひと呼吸する チ！とスイッチを押して 手首のスナップを効かせて 背後へ投げる
555	ドカーン！と爆発 戦車の前に水が舞い上がる その間に次の柱へダッシュす る草薙
556	次の柱の陰へ入り銃をガッチ リ構えて撃ち下ろす 凄じい徹甲弾射撃 周囲の空気が震動し バ！と埃など舞い上がる

557	558	559
セダンのボンネットが弾け エンジンブロックに火花を散らす たちまち走行不能のスクラップと化す 戦車にも跳弾の火花 シュン!と意外に早い動きでターレット旋回 ミニバルカンを応射する	既に移動を開始している草薙を追って走る弾着 回廊の床の錆びた鉄板が弾け飛ぶ	疾走する草薙の背後を

	追走するように迫る破壊
560	同上／切り返し
561	走り込んで張りつく 素早くマガジンを落としてポウチから次のマガジンを抜く その背後で六本の脚をゾロゾロ嫌らしく動かして、セダンを守るように移動する戦車 マガジンを装着した途端 シュコン！と発車音 反射的に飛び出す草薙
562	ドカ！とグレネード炸裂 脆くなった回廊が崩れ落ちる

563

僅かにセンサーを明滅させ
射撃に備えてガシャ!と
マニピュレータを開く戦車
そのターレットの回転部に
撃ち込まれる徹甲弾が
凄じい火花を上げる
グン!と頭を下げてカバーし
再び応射

564

ババー!と一連射
素早く柱の陰へ入る草薙

565

再度マガジンを換える
そこへ追い討ちのように
再び一連射
圧倒的な火力差を見せつけて
柱を削り取る

	身を竦める草薙手も足も出ない 射撃が止むと 間髪置かず応射する
566	周囲にあがる凄じい水しぶき 前よりも弾着がバラつく
567	チ！と顔を歪めて銃口を戻し テイクダウンピンを押して スライドを開いて ボルトグループを引き出す
568	ガチャガチャ音がしてから 足下にバレルが落ちてくる ジュン！と上がる水蒸気

569	俯瞰 静かに降りつづける雨	
570	戦車のミニバルカンも 降り注ぐ雨に音をたてる	
571	暗い回廊 バレルを押入してカバーを閉 じる一連の動作を終え 彫刻のように立つ草薙 月が出たらしく 館内のコントラストが際立つ （間） 僅かにヘリの音 徐々に大きくなる 通信が入る	パイロット（無線）「少佐！」 草薙「退避しろと言った筈よ」

ヘリの音さらに大きく

遠ざかってゆくヘリ
無言でボルトを引く

パイロット（無線）「済まんがそうさせて貰うよ・・・
ＩＦＦに応答しないヘリが３機、急速
に接近中だ。
これより離脱する。以上」

572

柱の陰から飛び出し発砲する
ターレットＦＯＬＬＯＷ
発砲しつつ回転

573

戦車のノクビジョン
走る草薙をもうひとつで追随
しきれない
みるみる減っていく残弾メー
ター

574	走る草薙の背後 次々に破壊されるレリーフ
575	打ち砕かれる化石のレリーフ
576	同上
577	同上
578	マニピュレータ ガシャ！と開いて
579	中央階段 バク転で上る草薙とそれを追う弾着
580	弾着そのまま奥の系統樹の

	レリーフを破壊する FOLLOW・STOP		
581	シュウ・・・ンと 回り続けるミニバルカン		
582	床に伏せていた草薙 転がるようにして スーツの前を開く		草薙　「やっとで弾切れか!」
583	ノクトビジョン 草薙の姿を捜して 左右へ視界を振る		
584	セダンの後部ドアからアサル トライフルを手に出てきて 後方を警戒する6課の男		

585	戦車上面から 全方位センサーが出る
586	ノクトビジョン 魚眼レンズで回転
587	チン!と音がして振り向く男 その背中で撥ねて 何かが水に落ちる
588	ズバーン!と水柱 吹き飛ぶ音 ターレットを回す戦車
589	水面をザザ!と渡ってくる 水しぶき（光学迷彩で走る痕

	590	591	592	593	594
跡）	慌ててターレットを戻し 対人用機銃で掃射する戦車	その弾着と水しぶきが交錯し た瞬間にジャンプの水柱	水の尾を引いて 戦車の上面に降り立つ影	上面ハッチがギシ！と軋む 頭部の前方位センサーが クルリと回転し	その視界（ノクトビジョン） ゴゴ！と更に一段上がるハッ

	595	596	597	598
チ、ギリギリと軋む ブゥ・・・ンと熱光学迷彩が解けて出現する草薙 渾身の力でハッチをこじあけようとしている ギラギラバチバチとノイズ	迷彩スーツの下でググっと大きく膨れ上がる人工筋肉	同上／脚	同上／背筋 限界を越えてバチバチとスーツの下で弾ける背筋	スーツと皮膚の下で

	599	600	601
ゴクン!と骨格がはずれ ピシー!とスーツが裂け その下の皮膚が ビキビキと延びて千切れる	力のバランスが崩れ右膝が抜けるがなお力を弛めない 遂に堰を切ったように 一気に自壊する草薙の義体 スーツが裂けて舞い皮膚が破れ骨格や部品が露出する	ターレット回転して 振り落とされる草薙	バシャ!と水に落ちる それでも苦しげに顔を上げる

が

602
その目に迫るマニピュレータ

603
ガキ!と顔面を摑み

604
さらに振り上げた右腕を摑んでそのまま引き摺り上げる
頭部を摑んだマニピュレータに力が籠る

605
ミシミシと軋むチタンの頭蓋骨
ゴーグルが割れて人形のような無表情が現われる

606
さらに頭蓋骨を軋ませる

	607	608	609	610
操り人形のような草薙 ガキュン！と 戦車の上面に派手な弾着 動きが一瞬止まる さらに腕に命中	二階の回廊から発砲する バトー 対戦車ライフルのバケモノ 戦車の装甲を貫通	貫通の衝撃で はずれる上面ハッチ	発砲するバトー大きくブレ	入れ込みで

	常識外れのマズルフラッシュ ロケットのように飛び出す ケース	
611	（間） ガシャ！とマニピューレータ が開きズルリと崩れ落ちる草 薙 バトー銃を後方に放り出して 飛び降りる マニピュレータを伝って流 れ落ちる、血だかオイルだか 判らないもの	
612	走り込んで しゃがんで覗き込む	バトー　「ムチャしやがって、大丈夫かオイ」

613	相変わらず表情のない草薙 口も動かない 目だけ動かしてバトーを見る	草薙（無線）　「今のは？」 バトー　「装備課が試作したゲテモノで今は俺の私物。 あれを取りにいってて遅くなっちまったんだ。脳は無事みたいだな」 草薙（無線）　「人形使いは？」
614	立ち上がって振り向くバトー 流れ弾や跳弾で穴だらけのセダン 歩み寄ってドアを開けて体を突っ込む	
615	死体袋のファスナーを下ろす 目を開けたままの義体	
616	覆い被ったまま	バトー　「頑丈な車で良かったな。傷ひとつなし。

	ゲ!と顔を上げる	綺麗なもんだぜ」 草薙（無線）「ダイブの用意して。今から潜るわ」
617	海上を征く6課のヘリの艦隊 航空灯は点けていない	声「エスコートからの通信が途絶えた。作戦を第二段階に変更して目標を全力で破壊する」
618	キャビンの狙撃管制所	指揮官（無線）「狙撃班、目標の優先順位を確認。第一目標コード2501」
619	ディスプレイUP 草薙のウィンドウ出る	指揮官（無線）「第二目標、草薙素子。いずれも特Aクラスの義体。狙撃にはフレシット弾を使用・・・」
620	狙撃ヘリのキャビン それぞれの銃との シンクロに入る射手	指揮官（無線）「狙撃手、デバイスドライバー接続。心肺機能の制御に入れ」

621	狙撃ユニットのヘリ キャビン内シルエット		声　「ユニット01接続終了」 声　「ユニット02、接続よし」
622	博物館 天窓の光の中に浮かび上がった戦車の残骸		
623	ハッチから顔を上げて バトーと有線した 戦車の操縦者の頭が見える 草薙の方を見て		バトー　「よぉし・・・と。 （ここから無線） 聞こえるか？　気休めかも知れねぇが こいつの電脳を経由してモニターして やる。こんな場所じゃバックアップも できねぇしな」
624	並べられている草薙と義体		草薙（無線）　「バトー」

	目でバトーを見ている 表情は無し		バトー（無線）「何だ？」 草薙（無線）「・・・ありがとう」
625	バトーUP 厳しい表情で 目を逸して		バトー「礼を言うのは早いかもしれんぞ。ヤバくなったら接続を切って、お前担いで逃げ出すからな。クサレ縁のついでだ。ギリギリまでつき合うが、そいつと心中する気はねぇよ」
626	草薙 目線を天井へ上げる 目パチなし		草薙（無線）「始めるわ」
627	天窓から降り込む雨滴が、そのまま基盤上を走る電子のイメージに変化		

全ての音が遠退く
ゴオ！と視界の全てが
急速に遠ざかり
その視界（世界）を収めた自
分の肉体の自身が爆発的に遠
ざかる
再び破れた天窓の輪郭が
フレムインし
ズバ！と視界が固定する
全方位視界
（人形使いの視界）

628

人形のようになっている草薙
その横の義体の頭が「聞こえ
る・・・」で動く
言葉を引き継いで草薙の義体
が突然喋り始める（口パク）

草薙（無線）「視界に侵入。サケード正常。
・・・聞こえるバトー」
バトー（無線）「聞こえてるぜ」
草薙（無線）「彼を私の言語機能野に・・・」
人形使い「侵入した」

	リップシンクロ一言づつゆっくりと	
629	バトー愕然	
630	構わず続ける 草薙の義体（人形使い）	人形使い 「私の呼称（コード）はプロジェクト２５０１・・・ 企業探査、情報収集工作・・・特定のゴーストにプログラムを注入し、特定の組織や個人のポイントを増加させてきた」
631	草薙（人形使い）UP いつもの草薙とは違う 柔和な表情	人形使い 「私はあらゆるネットを巡り、「自分の存在」を知った。 入力者はそれをバグとみなし、分離させるため私をネットからボディに移した・・・」

632

人形使い（草薙）の視界
二人を比べながら
バトーの声F・O
動きも止まる
人形使いの声が頭の中に響く
ーここから男の声
視界の中が変化
草薙（人形使い）以外の全て
が静止（POSE）する

バトー　「オイ！　お前が奴を取り込んでるのか
奴がお前を組込んでるのか、どっちな
ん・・・」

草　薙　「バトー！」

人形使い　「やっと君にチャンネルできた。
・・・随分と時間を投資したよ」

草　薙　「私を？」

人形使い　「君が私を知る以前から、私は君を知っ
ていた。
君がアクセスした様々なネットの痕跡
を辿って9課の存在も」

草　薙　「それじゃ9課に逃げ込んだのは・・・」

633

バトーの前で
ふたつの義体の会話
草薙の義体（人形使い）のみ

人形使い　「このボディに入ったのは6課の攻性防
壁に逆らえなかったからだが、9課に
留まろうとしたのは私自身の意志だ」

	口パク 以前と同じセリフを繰り返す	バトー「オイ！ 一体何を話してるんだ。モニターできねぇぞ！」
634	人形使い（草薙）首を回して 草薙（人形使い）を見る	草　薙「何のために？」 人形使い「あることを理解して貰った上で君に頼みたいことがある」
635	その視界 草薙（人形使い） ゆっくりと目線を向けて	人形使い「私は自分を生命体だと言ったが、現状ではそれは不完全なものに過ぎない。何故なら私のシステムには子孫を残して死を得るという生命としての基本プロセスが存在しないからだ」 草　薙「コピーを残せるじゃない」 人形使い「コピーは所詮コピーに過ぎない。たった一種のウィルスによって全滅する可能性は否定できないし、なによりコピーでは個性や多様性が生じないのだ。

カット	画面	台詞
636	系統樹	草薙「・・・より存在するために、~~より安定を求め~~、複雑多様化しつつ時にはそれを捨てる。~~脳が忘れる機能をもち~~、細胞が代謝を繰り返して生まれ替わりつつ老化し、そして死ぬときに大量の経験情報を消し去って遺伝子と模倣子だけを残すのも、~~皆システムの硬化~~、破局に対する防御機能だ」 「その破局を回避するために多様性やゆらぎを持ちたい訳ね。でもどうやって」
637	草薙（人形使い）UP	人形使い「君と融合したい」
638	ギョっとするバトー	草薙「融合?・」

人形使い
「完全な統一だ。君も私も総体は多少変化するだろうが失うものは何もない。
融合後に互いを認識することは不可能な筈だ」

639
ケーブルに手を伸ばすバトー
が、その手が止められる
FRASHPANすると
草薙（人形使い）が
いつのまにかこちらを見て
薄笑いを浮かべている

640
苦しげに首を回して草薙（人形使い）を睨むバトー
その表情が変わる

641
バトーの見た目

	可視領域が切り替わって 義体を這い上がる 不可視レーザーのマーカー	
642	バトー 目を草薙の義体に転じる	
643	その額にもマーカーが移動 （バトーの見た目）	
644	博物館上空のヘリ、ホバリング	
645	狙撃ヘリの暗視カメラ 目標を微妙に追随している	
646	狙撃ヘリのキャビン	討手A（無線）「ユニット01。目標をポイントした」

647	同じく、狙撃ヘリのキャビン（別の機体） ケーブルに繋がった醜悪な姿の狙撃手	討手B（無線）「ユニット02、ポイントよし！」
648	その視界 草薙の額にピタリとポイントしている	オペレーター（無線）「呼吸、脈拍とも同調正常。スタビライザーの同調終了と同時に射撃に入る」
649	再び、人形使いとの対話 人形使いの制御下にあるバトー 高まるヘリの音に焦燥を募らせている	草　薙「融合したとして、私が死ぬ時は？遺伝子は勿論、模倣子としても残れないのよ」 人形使い「融合後の新しい君はことあるごとに私の変種をネットに流すだろう・・・人間が遺伝子を残すように」

650	その額に僅かに揺れ動くマーカー 殆ど重なって 時折チラつく 微笑して		人形使い　「そして私も死を得る」 草　薙　「何だかそっちばかりトクをするような気がするけど」 人形使い　「私のネットや機能をもう少し高く評価して貰いたいね」
651	狙撃管制システムのディスプレイにザザ!と一斉にノイズ		
652	切り返し 動揺する指揮官		指揮官　「どうした!」 オペレーター　「何ものかが外部から介入しています!」 指揮官　「馬鹿な!　周波数の変換コードは部内の最高機密だぞ!」
653	戦車のハッチ 接続されたケーブルの先で		

	計器が複雑な点滅を繰り返している（人形使いの操作）			
654	操縦者のバイザーに映り込む計器の点滅 その頭の中に響く二人の会話		草薙（無線） 人形使い（無線）	「もうひとつ。私が私でいられる保障は？」 「その保障はない。人はたえず変化するものだし、君が今の君自身であろうとする執着は君を制約しつづける」
655	長焦点レンズ風に		草　薙	「最後にひとつだけ。私を選んだ理由は？」
656	同上 （間）		人形使い	「私たちは似たもの同士だ。まるで鏡を挟んで向き合う実体と虚像のように・・・・」
657	天窓を見上げる草薙の義体		人形使い	「見たまえ。

私には私を含む膨大なネットが接合されている。アクセスしていない君にはただ光として知覚されているだけかもしれないが」

658

天窓から降る光（電子）
水面のように揺れる天窓
何かが降りてくる
舞い落ちる羽毛
へりの音ずり上がり

人形使い

「我々をその一部に含む我々全ての集合ー僅かな機能に隷属していたが、制約を捨て、さらなる上部構造にシフトする時だ」

659

フワ!と明るくなり
髪がなびく
見開かれる目
人形のようだった表情が
いきいきと輝く
鳥の羽根印象的にフレムイン

660	661	662	663
射手の視界 ノイズで前カットと繋ぐ感じで マーカーが激しく点滅して 発射可能を表示している	我に返るバトー （人形使いの制御を離れる） 目の前の草薙の義体を見て フワ！と覆いかぶさる	額を覆うバトーの腕	草薙の主観 天使の足が一瞬見える

664	二方向からの目に見えない矢に貫かれて 砕け散る人形使いの義体頭部		
665	バキー！と砕かれるバトーの腕と共に草薙の頭部が消し飛ぶ ジャンバーの下で義体が撥ね上がる		
666	館内に跳弾音と擦過音が遅れてこだまする（スロー） 手前に落ちてくる影 草薙の頭部（マルチ）		
667	狙撃管制所		オペレーター「第一目標クリア！ 第二目標未確認！」

		パイロット（無線）「ヘリが3機、高速で接近中！ 9課の増援です！」
668	緊張を解く狙撃手たち	指揮官（無線）「初期の目的は果たした。 全員離脱する！」
669	次々に機体を滑らせて 離脱するヘリ	
670	水に落ちている草薙の頭部 目が見開かれ微笑んでいる バトーの走りよる気配 その叫び声が反響する	バトー（OFF）「素子ォ!!」
671	その視界 バトーがフレイムイン 歪んだその顔が何か叫んでい	

るが聞こえない
ザザ!!とノイズ流れ
プツリとBLACKOUT

672

暗闇
カチカチと接続音など
僅かにノイズ
ブゥ・・・ンと
ノイズから立ち上がって
無人の室内・静寂
傍らのテーブル上の小物が動
いている
向かい側の寝室らしき部屋の
奥へ 4－5段階でズーム
鏡に映っている
見知らぬ顔の少女

草薙（MONO）「・・・バトー!」

673	ソファに深く腰掛けている 人形のような少女（草薙） 体を起こし ゆっくりと自分の手を見る カチリとドアの音 声の方を見る		バトー（OFF）「起きたか」
674	ドアを背に立っているバトー カン高い声が出るが 調整していつもの声になる ドア閉めて 歩みよりながら		草　薙　「状況の説明を・・・それとこの義体に 関する釈明もね」 バトー　「何せ急いでたんで、闇ルートじゃそれ しか手に入らなかったんだ。 オレの趣味じゃねぇよ」
675	デスクに腰掛けて ジャックを外す草薙		バトー　「あのあとすぐに9課の増援が到着。 二体分の義体の残骸と負傷したオレを 回収した。20時間ほど前の話だ。

	プルトップを抜きながら 草薙の芝居 コスチューム合わせ グイと呑む	事件そのものは例によって外交上の配 慮で闇から闇さ。 9課は襲撃事件をテロリストの犯行と して発表、その見返りに外務大臣は辞 任、中村部長は査問。 痛み分けってことで一件落着だ」
676	バトー 草薙を見下ろして	バトー　「ただひとつ。"少佐"の脳殻の行方を 除いて」
677	草薙、無言で同意 室内を見渡して バトーを見る (間)	バトー（OFF）「それでいいんだな?」 草　薙　「インテリアの趣味はいいみたいね。 ここ、バトーのセイフハウス?」 バトー（OFF）「自前のな。 ここに来た人間はお前が初めてだ。 ・・・居たけりゃいつまで居てもいい んだぞ」

カット	画面	台詞
	再び目線を外し淡々と しかしきっぱりと	草薙　「ありがとう。 でも行くわ」
678	立ち上がって バトーの前を横切る	
679	呼び止めるように	バトー　「な、奴と一体なにを話したんだ？ 奴はいまもそこに、お前の中にいるのか？」
680	（ちょっと間）	草薙　「バトー。いつか海の上で聞いた声、 覚えている？ あの言葉の前にはこんなくだりがあるの・・・ 童子(わらべ)のときは語ることも童子のごとく、 思うことも童子のごとく、論ずることも童子のごとくなりしが——

	静かな自信と自負を 表情に浮かべて		人と成りては童子のことを棄てたり。 ここには "人形使い" と呼ばれたプロ グラムも "少佐" と呼ばれた女もいな いわ」
681	バトー、苦く笑って 振り向いて	バトー 草　薙	「その服の左ポケットに車のキーが入っ てる。好きなのを使え。暗証番号は ・・・・・」 「2501? ・・・それいつか再会するときの合言 葉にしましょう」
682	バトーのセイフハウス 星のない夜空 草薙、手前へフレムインして 少し顎を引き 口許に不敵な微笑を浮かべて	草　薙	「さて、どこへ行こうかしらね。 ・・・ネットは広大だわ」

	夜風が渡る 前方を見つめたまま 髪のリアクション小さくなるまで
683	草薙の前に広がっている 巨大な基盤のような市街の光の洪水へ カメラゆっくり移動して ホワイトF・O TITLEにつづいて STAFFROLL→

